



第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】

分野1	自然・環境			
基本方針	美しい風景を育て、豊かな自然と共生する持続可能な社会の構築			
政策1	良好な自然環境や景観の次代への継承			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	産業観光課農政係・耕地林務係/住民環境課生活環境係/建設水道課維持管理係			
課題と方針	<p>快適な暮らしや産業の発展との調和を図りながら、良好な自然環境と大切なふるさとの景観を次代に継承します。</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再生可能エネルギー設備等の環境や景観との調和</li> <li>・森林や農地の荒廃化防止と多面的機能の維持・保全</li> <li>・多様化する特定外来生物への対応</li> <li>・不法投棄の未然防止</li> </ul>			
行動目標	自分たちの手で大切な里山を守ろう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	耕作放棄地率<施策2>	9.4%	8.5%	
	住民 評価	里山・森を守る満足度<施策1>	30.5%	↑
	ふるさとの景観を守る満足度<施策2>	27.6%	↑	
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
<b>B</b>	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境や景観に配慮した多様な取組が各分野で進んでおり、持続可能な循環型社会の構築に向けた機運の醸成と具体的な取組みが進んでいる。</li> <li>・耕作放棄地率は目標値を上回り減少している。</li> </ul>			
<p>A 非常に成果あり (目標を上回った)</p> <p>B 相当程度成果あり (目標の7～8割達成)</p> <p>C 成果あり (目標の5～7割達成)</p> <p>D 成果が少ない (目標の5割未満)</p>	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近年、蓄電池を整備しようとする相談や過去に整備した施設の更新が増加している。</li> <li>・後継者不在等により自らが耕作できない農地は増えている。</li> <li>・管理不全の宅地等に繁茂するアレチウリなどは、地域の生態系に深刻な影響を及ぼすだけでなく、農業や人々の生活環境にも悪影響を与えているという課題がある。</li> </ul> <p>&lt;方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蓄電池整備について、自然環境保全条例に定めた要綱では非該当であるが、住環境の保全のため整備に対しての規制等の検討が必要になっている。</li> <li>・過去に自然環境保全条例に基づいて整備された施設の適正管理の周知徹底が必要になっている。</li> <li>・荒廃農地の利活用にあたっては、既存の担い手だけでなく、新規就農者や多様な農業者等を受け皿としていくことで、新たな作物栽培等への進展も見込めることから、遊休荒廃地等の流動化策を引き続き強化していく。</li> <li>・町では巡回し、外来生物の駆除活動に努めているが、町民の対策への意欲や関心を高め、その普及を図るための周知活動を実施していく。</li> </ul>			

施策1	豊かな自然環境の保全・継承	達成度評価	担当係等
①	将来にわたり生活環境及び自然環境に悪影響を及ぼすおそれのある施設建設等については、迅速に調査を行うとともに、必要に応じて審査・指導を行います。	<b>B</b>	生活環境係
②	生態系を脅かす特定外来生物の把握・移入防止・早期駆除に努めます。	<b>D</b>	生活環境係
③	森林の有する多面的機能が持続的に発揮されるよう、間伐、広葉樹林化等を推進します。	<b>B</b>	耕地林務係
④	松くい虫やナラ枯れなどの被害の拡大を防止し、森林の保護に努めます。	<b>B</b>	耕地林務係
⑤	農薬や化学肥料の使用を抑えた環境にやさしい農業を推進します。	<b>B</b>	農政係
K P I	対応するKPIは住民評価指標のため、次期総合計画策定時に検証・評価		
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町自然環境保全条例に基づく、開発行為許可等に係る調査、審査、指導の実施。</li> <li>・不法投棄物の監視、回収及び不法投棄物の処分に併せて特定外来生物（アレチウリ等）の一部駆除の実施。</li> <li>・森林の里親促進事業提携企業による植樹実施。</li> <li>・森林病虫害被害調査の実施。</li> <li>・フェロモン防除の推進。 など</li> </ul>		
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等		
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開発行為等に対する事前協議段階からの調査や指導及び調整等の徹底により、自然環境保全を図っていく。</li> <li>・特定外来生物の生態や駆除方法等について、啓発強化を図り、地域の駆除活動に対する支援の検討が必要。</li> <li>・森林環境譲与税による間伐は、集落周辺の森林環境並びに町道周辺のライフライン維持の観点からも有用な事業であり、今後も森林環境譲与税を活用する中で事業を継続・拡充していく必要がある。</li> <li>・森林病虫害の被害調査の結果、松くい虫は一定数の被害があり、ナラ枯れは被害拡大が確認されている。今後も被害状況の把握に努めるとともに、ライフライン付近を優先的に防除・駆除していく。</li> <li>・有機農産物の生産・消費拡大を促進させるため、安定生産・有機JASの取得支援・子どもたちへの有機農業の栽培体験なども含めて総合的に取り組んでいく必要がある。</li> </ul>		

施策2	ふるさとの景観の保全・育成						達成度評価	担当係等
①	景観条例・景観計画を基に、町民や事業者と協働で良好な景観づくりに努めます。						<b>B</b>	維持管理係
②	耕作放棄地や荒廃農地の発生防止と解消を図り、景観の維持と保全に努めます。						<b>A</b>	農政係
③	監視活動を強化し、ごみの不法投棄の未然防止を図ります。						<b>B</b>	生活環境係
④	河川や用水、ため池などの整備は、自然に最も近い材料や工法を用いて周辺環境の保全に努めます。						<b>D</b>	耕地林務係
K P I	耕作放棄地率 (%)						農政係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	9.4	—	—	—	—	<b>8.5</b>	<b>123%</b>	
実績		7.8	6.9	6.9				
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前相談や届出の適合審査を実施し、建築物や工作物等の建設に一定の規制を設けるなど、景観保全の強化を図っている。</li> <li>・耕作放棄地全体調査及び利用状況調査、定期的な農地パトロール等を実施するとともに、荒廃農地利活用促進交付金の交付により、荒廃地の発生防止・解消に努めた。</li> <li>・不法投棄物の監視及び回収の実施。また、不法投棄多発箇所には看板を設置し、抑制を図った。その他、不法投棄監視連絡員等との連携や警察など関係機関との協働による複合的な対処の実施、一斉清掃活動等を通じた不法投棄禁止の啓発の実施。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観計画における重要眺望点の設定、住民や事業者と協働で取り組む景観づくりの体制整備（協定制度の積極活用、景観づくり団体等の育成、景観アドバイザー等の活用等）等について、計画的に取り組を進めていく。</li> <li>・「地域計画」を町内6地区において策定したが、地域として守るべき農地、担い手等への集積・集約化に向けては、地域での話合いの継続が重要であり、同計画のブラッシュアップが必要である。</li> <li>・デジタル技術を活用した監視カメラの設置による不法投棄の抑制は、環境保護や地域の安全性向上に非常に有効な手段であると考え。不法投棄の特定や早期対応が可能となる点も踏まえ、今後は、設置箇所の通信状況や抑制効果を検証し、監視体制や整備・運用方法についても引き続き検討をしていく。</li> </ul>							

第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】

分野1	自然・環境			
基本方針	美しい風景を育て、豊かな自然と共生する持続可能な社会の構築			
政策2	自然の恵みの享受と環境への負担軽減			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	産業観光課農政係・耕地林務係・商工観光係/住民環境課生活環境係/企画課企画係/教育委員会子育て支援係/建設水道課建設係			
課題と方針	<p>豊かな自然環境の価値・機能や資源の魅力を最大限に活かしながら、環境負荷の少ない持続可能なまちづくりを進めます。</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学びや体験の場としての自然環境の魅力発信と活用の機会や場づくり</li> <li>・ 地域に潜在する多様な再生可能エネルギーの活用</li> <li>・ 脱炭素社会や循環型経済など持続可能な社会構築に対する意識啓発</li> </ul>			
行動目標	町の自然をめいっぱい楽しもう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	林業体験参加者数<施策1>	22	200	
	自然体験プログラム数<施策1>	13	100	
	民間保育施設を含む信州型自然保育認定園数<施策1>	4	4	
	森林整備・木材活用・自然体験等提供を行う団体<施策1>	0	1	
	町の事務・事業におけるCO <sup>2</sup> 排出量<施策2>	4,391t	4,078t	
	1人1日当たり可燃ごみ排出量<施策2>	488g	396g	
	住民評価	自然に親しむことができる機会を増やす満足度<施策1>	27.8%	↑
		省資源・資源循環の推進満足度<施策2>	28.1%	↑
		家庭ごみの分別の徹底や減量化、リサイクルなどに取り組んでいる<施策2>	92.8%	↑
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
C	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 森林の里親促進事業等により整備されたエリアがノルディックウォーキングのコースの一部にもなっており、植樹や間伐等を通じて景観形成が行われ、自然に親しむ場づくりの一助になっている。</li> <li>・ 子どもから大人まで「環境に配慮した行動ができる人」を育てるための環境教育の実践と協働を促す取組を推進するために飯綱町環境教育等推進行動計画を策定し、地域の代表である衛生組合長連合会で学習会を実施した。</li> </ul>			
	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内の森林整備の促進は、各種補助事業等を活用する中で順次実施しているが、森林環境や町内産木材を活用したプログラムの創出にまでは至っていない。</li> <li>・ 飯綱町環境教育等推進行動計画に基づき、子どもから大人まで「環境に配慮した行動ができる人」を育てるための環境教育の実践と協働を促す取組を推進する必要がある。</li> </ul>			
A 順調 (目標以上に進捗)	<p>&lt;方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内にあるグループ・事業者等と協議・連携をしていく中で、プログラム等を企画運営していただける団体や事業体を育成していく必要がある。。</li> <li>・ 飯綱町環境教育等推進行動計画の進捗管理を行いながら、計画に沿った事業、取組を各機関連携のもと推進していく。</li> </ul>			
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)				
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)				
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)				

施策1	自然と親しめる場や機会の創出						達成度評価	担当係等
①	森林や里山の自然とふれあう機会を創出し、森に対する親しみと理解を深めます。						A	耕地林務係
②	町の自然を親子で体感・体験できるプログラムを創出します。						D	地域振興係/子育て支援係
③	自然の親しみ方や関わり方を伝えるインストラクターを養成します。						D	地域振興係/耕地林務係
④	町内の森林整備を促進し、森林環境や町内産木材を活用したプログラムを創出します。						D	耕地林務係
⑤	自然に親しめる公園（町民の森）の整備など、憩いの場づくりを進めます。						C	耕地林務係
⑥	自然に親しめる公園の整備を、地域と一緒に手づくりで進めます。						C	建設係
K P I ①	林業体験参加者数（人）						耕地林務係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	22	—	—	—	—	200	142%	
実績		210	293	284				
K P I ②	自然体験プログラム数（プログラム）						地域振興係/子育て支援係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	13	—	—	—	—	100	18%	
実績		21	23	18				
K P I ③	民間保育施設を含む信州型自然保育認定園数（園）						子ども保育係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	4	—	—	—	—	4	100%	
実績		4	4	4				
K P I ④	森林整備・木材活用・自然体験等提供を行う団体数（団体）						耕地林務係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	0	—	—	—	—	1	0%	
実績		0	0	0				
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林の里親促進事業による植樹や下草刈りの実施、小学校「緑の少年団」活動推進など。</li> <li>・子ども向け自然体験プログラム（ロゲイニング、スノーシュー等）や観光者等を対象とした農村体験プログラムの実施。</li> <li>・牟礼駅前自然公園整備の実施及び地元住民のボランティア活動による公園整備の開催。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑の募金の助成による活動は、町の子どもたちや町民が自然に親しむ機会を創出している。地域の負担軽減を図るため令和6年度を最後に募金依頼をやめることにより、助成金が大幅に減少し既存の取組が制限される。事業の選択と集中により、多くの町民が森林や里山に親しみ、その大切さを理解するための新しい取組等について検討・実施していく。</li> <li>・現在、自然体験プログラムについては、町と民間事業者との連携が取れていないため少ない状況である。感動・癒し・自然の厳しさ・喜び等心と体で体験できる新プログラムの創設に向けて民間事業者等と連携を強化し、魅力的な体験プログラムを増やしていく。</li> <li>・整備した公園について、計画的に施設整備を進める。また、住民参画の取組の持続可能な支援、ボランティア活動等の機会を構築していくことが必要である。</li> </ul>							

施策2	脱炭素・省資源・省エネルギー・資源循環の推進						達成度評価	担当係等
①	LED照明やペレットストーブ※などの省エネルギー機器の普及促進を図ります。						C	生活環境係/耕地林務係
②	環境に配慮しながら、太陽光発電、地中熱、小水力発電等の再生可能エネルギーの活用やクリーンエネルギー自動車※の導入など、脱炭素に寄与する取組を積極的に進めます。						B	生活環境係/企画係
③	りんごの剪定枝、間伐材などのバイオマス資源の利活用を研究します。						B	農政係/耕地林務係/企画係
④	ごみの分別を徹底し、ごみの減量、再利用、再資源化を促進します。						A	生活環境係
⑤	ごみの減量やリサイクルなどの環境学習を推進し、町民の環境への理解・関心を深めます。						B	生活環境係
⑥	公共施設に電気自動車充電設備の設置を計画的に進めます。						C	企画係/生活環境係
K P I ①	町の事務・事業におけるCO2排出量 (t)						生活環境係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	4,391	—	—	—	—	4,078	138%	
実績		4,070	3,296	2,965				
K P I ②	1人1日当たり可燃ごみ排出量 (g)						生活環境係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	488	—	—	—	—	396	78%	
実績		368	353	507				
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温室効果ガスの排出量を確認し、温暖化対策の進捗状況を把握しながら、脱炭素・省エネルギー化に向けた取組を推進している (R6.6計画改定)。</li> <li>・芋川用水への小水力発電の導入、公用車のEV導入やEV充電設備の導入など。</li> <li>・剪定枝活用による薪ストーブ利用者とのマッチングの実施。</li> <li>・年2回の町内一斉清掃活動の実施、家庭用生ごみ処理機の購入費補助など各種補助事業の実施。</li> <li>・環境教育等推進協議会において町の環境教育並びに協働取組の推進に関する協議や連絡調整などを実施し、環境学習事業に反映した。</li> <li>・民間事業者との連携により、いづなコネクT EAST及び町民会館に普通EV充電器を設置。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー効率の高い施設、設備、再生エネルギーの導入は、多額の費用が見込まれることから、統廃合や財源確保と導入のタイミングを考慮する必要があり、短期的に効果を出すことが難しい。</li> <li>・地球温暖化防止対策の取組は、進捗状況の的確な管理や進捗に応じた事業立案・調整など、専門性が極めて高く、実効性のある施策を着実に進めて行くためには、専門的な人員と体制が不足しているため、体制整備をどう進めていくかが課題。</li> <li>・剪定枝活用は、農家と薪ストーブ利用者双方の課題解決が図られ、CO2排出量の削減効果にもつながるため、今後も継続して取り組んでいく。</li> <li>・「3R」による取組はごみの大幅な減量が見られないため、打破策として「可燃ごみ減量」の強化と「4R (リフューズを加えたリデュース・リユース・リサイクル)」として、町民への理解の浸透と実践を促進していく。</li> <li>・町の環境教育並びに協働取組の推進に関する施策や取組、推進方法等について検討し、行動計画としてまとめることで、各機関連携のもとに事業を推進していく体制を整備していく。</li> <li>・民間事業者との連携により普通EV充電器の設置拡大を推進する。電気自動車の普及状況等も見定めながら、防災や観光的な活用を含めて、計画的に公共施設や商業施設等に設置を進めていく。</li> </ul>							


第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】

分野2	学び		
基本方針	ふるさと環境を活かした人材育成と一人ひとりの豊かな人生の創造		
政策1	安全・安心で「生きる力」を育む教育環境づくり		
関連するSDGs			
主な担当課・担当係	教育委員会総務教育係・学校給食係		
課題と方針	<p>多様化・グローバル化が進む社会のなかで、ふるさとに誇りをもって豊かな人生を歩める力を育む教育環境をつくります。</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の資源（自然・歴史・文化・産業）を活かして幼少期から学べる機会の充実</li> <li>・多様な個性や能力、価値観を理解・尊重できる環境づくり</li> <li>・確かな学力を身に付けられる安全・安心な教育環境の確保</li> </ul>		
行動目標	ふるさとを愛し、人を思いやる心を育てよう！		
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)
	中学校の英検受験率<施策1>	34.8%	50.0%
	ネットワーク環境整備学校数<施策1>	3校	3校
	平成27年度からの奨学資金の貸付人数（累計）<施策2>	21人	30人
	学校給食における地元農産物の使用率 米<施策2>	100%	100%
	じゃがいも<施策2>	15.1%	35.0%
	玉ねぎ<施策2>	21.6%	35.0%
	住民評価	町ならではの教育環境づくり満足度<施策1>	36.7%
	誰もが安心して教育を受けられる環境の整備満足度<施策2>	35.0%	↑
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等		
B	<成果>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル教材を活用した、特徴のあるデジタル教育の取組が進むとともに、個々に応じた多様な学びの環境づくりが進捗。</li> <li>・不登校等に対して、各校での相談体制の充実と該当児童生徒と関わりのある者だけでなく複数人で構成するチームで対応に当たるようにするなど、支援の強化を促進。</li> </ul>		
A 順調 (目標以上に進捗)	<課題>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒数の減少に対応した学校づくり。</li> <li>・通学安全対策について、予算面等の影響で、全ての要望に対して早急に対応できていない。</li> <li>・学校給食の地産地消に向けて、生産者が計画的に生産・納入しやすい体制の整備。</li> </ul>		
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)	<方向性>		
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒数の減少傾向が加速しており、その結果として活動や学びの機会は徐々に制約・制限の拡大が懸念されるため、中期的な視点から児童・生徒数の減少に対応した学校づくりを進めていく必要がある。</li> </ul>		
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールバス等による通学手段の確保や遠距離通学者に対する補助等による負担軽減を含め、通学の安全確保・対策に対する予算を適切に確保し、危険度や必要度に応じて優先順位をつけながら対応を進めていく。</li> <li>・学校給食への地元食材使用促進を任務とした地域おこし協力隊が活動を始めた。調理場と直売所との受発注調整や、直売所と農家との調整など、調理場への納品・物流の仕組づくりについて、連携しながら地産地消を推進する。</li> </ul>		

施策1	飯綱町ならではの教育環境の構築						達成度評価	担当係等
①	集団による多様な活動の場を確保するなど、児童・生徒数の減少に対応した学校づくりを推進します。						D	総務教育係
②	町独自に教員を確保し、きめ細かな学習指導を行うなど、児童・生徒一人ひとりの個性と能力を伸ばす教育を推進します。						A	総務教育係
③	地域の自然や歴史、文化、産業を学ぶ機会や資料を提供し、ふるさとを愛する心が育つ環境を推進します。						B	総務教育係
④	豊富な知識、経験、特技を持った地域住民と学校を結びつけ、地域ボランティアが体験学習等の支援をするシステム（飯綱町コミュニティスクール）を構築し、飯綱町ならではの地域密着型の教育を推進します。						B	総務教育係
⑤	ICT（情報通信技術）を活用した教科学習を積極的に進め、子どもたちが個に応じた学習に意欲的に取り組める環境づくりを推進します。						B	総務教育係
⑥	小中学校に英語の専門教員やALT（外国語指導助手）を独自に配置するなど、グローバル化に対応した教育を推進します。						B	総務教育係
⑦	学童期の学びは、そこに至る乳幼児期に育まれた遊びを通じた学びが土台となっていることから、園・小接続カリキュラムの作成を進め、幼児期の学びや育ちを小学校教育につなげるよう連携を図ります。						C	総務教育係
⑧	スクールバス等の通学手段や通学路の安全を確保し、子どもたちが安心して通学できる体制を整備します。						B	総務教育係
⑨	多様な学びの機会を確保し、子どもたちの学びを保障します。						C	総務教育係
K P I ①	中学校の英検受験率（％）						総務教育係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	34.8	—	—	—	—	50.0	51%	
実績		28.1	29.8	25.4				
K P I ②	ネットワーク環境整備学校数（校）						総務教育係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	3	—	—	—	—	3	100%	
実績		3	3	3				
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町費講師の配置による、きめ細やかな教育環境の整備。</li> <li>・各小中学校において、それぞれ地域人材を講師に迎え、地域を知り学ぶ学習を実施。</li> <li>・コミュニティスクールを核に学校と地域の連携強化（「おらほの応援団」事業など）。</li> <li>・タブレット端末を活用した学習や活動（プログラミングやデジタル学習）の日常化、民間人材を活用したICT教員の配置など、デジタル教育の取組の強化。</li> <li>・学級担任とALTによる授業カリキュラム作りを進めるなど、英語教育環境の充実化を推進。</li> <li>・小学校教諭が町内保育園の保育状況の定期的な観察や保育士からのヒアリング等の実施など、保小連携の体制整備を強化。</li> <li>・三水小学校区においてスクールバスを増車し、バス通学範囲を拡大。</li> <li>・放課後登校やオンライン学習などの実施、フリースクール等での学びを選択する児童生徒に対して、校長判断により出席扱いとするとともに、教材費の補助を実施し、多様な学びの場を保証。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町費講師により児童・生徒個々に応じた支援を行った。児童・生徒数の減少が進む中、加配措置に当たっては一定の基準を設けるなど、適切かつ計画的に配置を行っていく。</li> <li>・地域学習について、活動の記録を精査・保存し、継続的な取組として次年度以降に繋げる。</li> <li>・幅広い分野での地域ボランティアなど、学校を支えていく人材確保を進めていく。</li> <li>・タブレット端末での学習内容から、自らが知りたい・学びたいことを選び、自主的に学習できる方法について、指導・支援していく体制を強化していく。</li> <li>・英語教育は小中学校の切れ目ない学びを進めていくことが重要なことから、小中学校間での連携を更に強化する。</li> <li>・保小接続カリキュラムの作成や子どもの育ちを中心に置いた町独自の保小連携システム等の構築を進めていく。</li> <li>・通学の安全確保・対策に対して、危険度や必要度に応じて優先順位をつけながら対応を進めていく。</li> <li>・学校外の「多様な学び」を可能な限り認め、創意工夫によって自由に「多様な学び」を実践できるような体制や仕組みづくりを進めていく。</li> </ul>							

施策2	誰もが安心して教育を受けられる環境の整備						達成度評価	担当係等
①	町の全ての人が家庭の経済状況等にかかわらず、安心して学ぶことができる機会を確保します。						B	総務教育係
②	いじめの早期発見・早期対応を図るなど、いじめや不登校等の問題を抱える子どもたちへの支援を充実させます。						B	総務教育係
③	子どもの発達段階に応じてきめ細かな教育が施されるよう、全ての5歳児と保護者を対象とした臨床心理士等による相談体制を充実させ、必要に応じて子どもの生活支援等につなげます。						B	総務教育係
④	食物アレルギーを持つ児童・生徒には、アレルギーの原因となる食材を使用しないなど、全ての児童・生徒が安心して食べられる学校給食を提供します。						B	学校給食係
⑤	地産地消推進のため、町内直売所等の協力を得て町の農産物を積極的に用い、手づくりのおいしい給食の提供に努めます。						B	学校給食係
K P I ①	平成27年度からの奨学資金の貸付人数（累計）（人）						総務教育係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	21	—	—	—	—	30	110%	
実績		27	33	33				
K P I ①	学校給食における地元農産物の使用率（%） 米						学校給食係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	100	—	—	—	—	100	100%	
実績		100	100	100				
K P I ②	学校給食における地元農産物の使用率（%） じゃがいも						学校給食係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	15.1	—	—	—	—	35.0	77%	
実績		23.7	21.0	26.9				
K P I ③	学校給食における地元農産物の使用率（%） 玉ねぎ						学校給食係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	21.6	—	—	—	—	35.0	64%	
実績		29.7	40.9	22.3				
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奨学資金貸付事業、要保護等児童生徒就学援助費の給付、教材費補助、英語検定料補助等の実施。</li> <li>・町独自にソーシャルワーカーを配置し、いじめや不登校等の対応と支援を実施。</li> <li>・5歳児相談事業により、就学に向けた適切な対応と支援を実施。</li> <li>・町独自に管理栄養士を配置し、代替食または除去食を提供し、全児童生徒に手作りの安全・安心な給食を提供している。</li> <li>・生産者や関係者等で組織する「学校給食会議」を設置し、地元農産物・有機農産物の学校給食への使用拡大に向けた仕組みづくりと食材供給体制づくりを推進。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済状況により、学ぶ機会に格差や損失を生じさせないよう、引き続き適切な支援策を講じていく。</li> <li>・保護者（家庭環境）による子どもへの影響も見受けられるため、関係機関との連携が必要となっている。</li> <li>・5歳児の発達の観察や記録保存等により、保育園と学校間の情報共有が図れ、発達状況に応じた適切な支援を進めることができている。引き続き、きめ細やかな相談及び支援体制を充実させていく。</li> <li>・アレルギー対応を適切に進めていくため、各学校の「アレルギー対応委員会」等と的確な情報共有を図り、誤食事故の発生防止を徹底していく。</li> <li>・地元食材については、食材の年間使用量の情報提供を行うなど、生産者が計画的に生産・納入しやすい体制を整えることで、地元食材使用率を高めていく。</li> </ul>							

第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】


分野2	学び			
基本方針	ふるさと環境を活かした人材育成と一人ひとりの豊かな人生の創造			
政策2	スポーツ活動の推進・文化芸術の創造と継承			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	教育委員会生涯学習係／産業観光課農政係・商工観光係／企画課企画係			
課題と方針	<p>スポーツや文化芸術の価値を共有して、より多くの町民がこれらの活動に親しみ、関われる環境や体制づくりを推進します。</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツや文化芸術との多様な関わり方（する・みる・ささえる）への対応</li> <li>・既存施設の活用や地域資源を保全する活動支援</li> <li>・各種スポーツの指導者や伝統文化の継承者の育成</li> </ul>			
行動目標	健康な心と体を育てよう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	スポーツ団体参加者数<施策1>	932人	1,100人	
	スポーツ少年団リーダーの養成者数(累計)<施策1>	69人	70人	
	地域密着型プロスポーツ応援観戦者数<施策1>	0人	180人	
	歴史ふれあい館の入館者数<施策2>	2,422人	3,000人	
	アップルミュージアム入館者数<施策2>	8,399人	13,000人	
	文化財等を活用したイベント開催数<施策2>	3回	5回	
	住民 評価	多様な活動機会の創出満足度<施策1>	34.5%	↑
		文化の保存・継承満足度<施策2>	30.9%	↑
		地域の行事や集まりに積極的に参加している(地域の会合、お祭りなど)	59.7%	↑
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
A 順調 (目標以上に進捗) B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗) C やや遅れている (目標の5～7割の進捗) D 遅れている (目標の5割以下の進捗)	<b>B</b>	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツに触れ親しむ機会やスポーツを通じた交流の場は、いづなコネクトWESTだけでなく、EASTも拠点となりつつあり、増加傾向。</li> <li>・食の匠と食育推進講座等では、若い世代の参加も増えてきており、地域の食文化と優良な農産物等への理解を深め、次世代に受け継いでいく取組として有用な事業となっている。</li> </ul>		
		<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツに親しむ環境づくりは重要だが、指導者や後継者等の人材の確保と育成が課題。</li> <li>・天然記念物等の自然遺産について、維持管理が重要な役割となっている。</li> <li>・文化芸術へ気軽に触れる機会を増やすなど、興味関心を高めていくための仕組みづくり。</li> </ul> <p>&lt;方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ指導者の確保・育成に向け、周辺市町村との連携や民間事業者の活用等、手段を探る。</li> <li>・天然記念物については、日頃から所有者や管理団体と連携をとり、有識者に指導を仰ぐなど計画的な維持管理を図る。</li> <li>・町内の様々な施設を活用して、町民や作家等の文化芸術活動の発表の場や機会を設けていくなど、町民が文化・芸術に触れる機会を広げる工夫と拡充を図っていく。</li> </ul>		

施策1	誰もがスポーツに親しめる環境整備						達成度評価	担当係等
①	町民運動会、球技大会、元旦ジョギング大会等の町民参加型スポーツイベントの充実や新たな企画など、より多くの人々がスポーツ活動に参加し親しめる機会を創出します。						A	生涯学習係
②	スポーツ関連団体等が企画運営するスポーツ推進活動やイベントを支援します。						A	生涯学習係
③	いづなコネクTWEST等の施設を活用して、町内外者のスポーツ交流を創出します。						B	地域振興係
④	地域・団体等が企画運営する地域資源を活かした活動を支援します。						D	生涯学習係／企画係
⑤	各種スポーツ団体の選手の育成や指導者の養成・確保などを支援します。						B	生涯学習係
⑥	地域密着型プロスポーツの応援観戦を支援し、子どもから大人まで広くスポーツ観戦の機会を創出します。						C	企画係
K P I ①	スポーツ団体参加者数（人）						生涯学習係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	932	—	—	—	—	1,100	91%	
実績		997	1,013	997				
K P I ②	スポーツ少年団リーダーの養成者数（人：累計）						生涯学習係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	69	—	—	—	—	70	103%	
実績		70	71	72				
K P I ③	地域密着型プロスポーツ応援観戦者数（人）						企画係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	0	—	—	—	—	180	46%	
実績		100	103	82				
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツレクリエーション大会、町民球技大会、元旦ジョギング大会、小学生駅伝競走大会など、各種スポーツ大会実施。</li> <li>・スポーツ協会教室運営補助金、いづなスポーツクラブ運営補助金、全国規模大会参加費補助金等の支援。</li> <li>・いづなコネクTWESTを活用したスポーツプログラムやスポーツ交流事業等の実施。</li> <li>・少年スポーツ活動等を通じた選手及び指導者の育成。いづなっ子くらぶなどの実施。</li> <li>・長野パルセイロ及び信州ブレイブウォーリアーズのホームタウンゲームの際に実施される町民応援バスツアー事業に補助金を支出し、地域のプロスポーツ観戦機会を創出。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化等により、分館単位でのスポーツ活動等への参加が難しく、地域の負担も大きいため、各種大会の開催時間を短縮し参加しやすい環境とした。今後も分館や参加者からの意見を取り入れながら、事業の継続に努める。</li> <li>・全国規模の大会に出場した者に対する補助金等の各種支援について、様々な方法で周知を図る。</li> <li>・いづなコネクTWESTのスポーツ施設環境を最大限に活用し、指定管理者や入居事業者等と連携しながら、多様なスポーツ交流事業を展開していく。また、いづなコネクT EASTはアーバンスポーツの拠点となりつつあるため、連携して取組む。</li> <li>・スポーツに関わる指導者（地域人材）の確保や把握、育成が課題となっている。</li> <li>・地域のプロスポーツチームとの連携を強化し、ニーズに応じた観戦機会を増やしていく。</li> </ul>							

施策2	伝統文化の保存・継承						達成度評価	担当係等
①	食育活動を通じて町の豊かな農産物や食文化への理解の促進を図ります。						<b>D</b>	農政係/企画係/生涯学習係
②	有形・無形の自然・歴史・文化的資源の保存、継承、活用に努めます。						<b>B</b>	生涯学習係
③	町の伝統や自然、歴史に関する各種講座を開催するなど、ふるさとへの誇りや愛着心の醸成を図るとともに伝統文化等に携わる人材を育成します。						<b>B</b>	生涯学習係
④	自然や伝統文化の発信拠点・学習拠点として、歴史ふれあい館やアップルミュージアムの展示内容の充実やリニューアルによる機能強化を図ります。						<b>B</b>	生涯学習係/商工観光係
K P I ①	歴史ふれあい館の入館者数（人）						生涯学習係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	2,422	—	—	—	—	<b>3,000</b>	<b>16%</b>	
実績		2,651	3,209	469				
K P I ②	アップルミュージアム入館者数（人）						商工観光係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	8,399	—	—	—	—	<b>13,000</b>	<b>92%</b>	
実績		9,453	17,274	11,962				
K P I ③	文化財等を活用したイベント開催数（回）						生涯学習係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	3	—	—	—	—	<b>5</b>	<b>40%</b>	
実績		4	5	2				
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の食文化や農産物などの伝承を目的に「食の匠」育成講座や食育推進講座の実施。</li> <li>・文化財保護審議会を中心として望ましい文化財の保護活用を図る。</li> <li>・歴史ふれあい館主催行事や地域や団体等からの要請による講座への講師派遣等、町民が地域を知り学ぶ場を積極的に設け、地域の歴史文化への誇りと愛着心の醸成を図る。</li> <li>・歴史ふれあい館はリニューアルのための詳細設計と展示改修工事を実施。アップルミュージアムは11回の企画展を実施。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育活動の担い手である町内女性グループの高齢化と会員数減少が進んでいるため、大切な食文化の継承と食育活動を継続していくための後継者の確保と育成が急務である。</li> <li>・天然記念物、特に樹木について、剪定などの緊急対応を迫られるケースがあるため、対策が後手に回らないように努める。</li> <li>・歴史ふれあい館のリニューアルに向けた休館により、学校教育の来館は減少した。リニューアル後、出前講座などを積極的に実施する。</li> <li>・歴史ふれあい館は新たな常設展示テーマを生かした博物館事業を展開する。アップルミュージアムは、施設の老朽化が進んでいるため、施設改修や展示内容・施設機能等を含めて、計画的にリニューアル構想の検討を進めていく。</li> </ul>							

施策3	創造的な文化芸術活動の支援	達成度評価	担当係等
①	文化芸術団体等が企画運営する文化芸術推進活動やイベントを支援します。	<b>B</b>	生涯学習係
②	文化、芸術に関する各種講座を開催するなど、文化芸術活動の推進と人材の育成を図ります。	<b>B</b>	生涯学習係
K P I	施策3に対応するKPIなし		
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アップルミュージアムを活用し、町民や町内作家等の文化芸術活動の発表の場として展覧会や企画展を開催。</li> <li>・いづな大学・いづな教室事業を通じて、文化芸術活動の推進と人材養成を図っている。</li> </ul>		
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等		
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化協会の会員数は減少傾向にあり、活動の停滞化等も危惧されていることから、会員数減少に対する支援や対応が必要。</li> <li>・いづな大学・いづな教室の参加者は減少傾向にある。文化芸術に興味関心を持ち、活動を始めてみようとする参加者を増やしていく工夫が必要なほか、文化芸術活動の推進を牽引していく人材を発掘・養成していく。</li> </ul>		


第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】

分野2	学び			
基本方針	ふるさと環境を活かした人材育成と一人ひとりの豊かな人生の創造			
政策3	多様な学びの機会の創出と生涯学習の推進			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	教育委員会生涯学習係／保健福祉課福祉係／企画課地域振興係・人口増推進室			
課題と方針	<p>生涯にわたって学べる場や機会を確保し、学びを通じて、地域コミュニティの継承や一人ひとりの豊かな人生の創造につなげます。</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未来のまちづくりを担う人材の育成、学びの場づくり</li> <li>・地域コミュニティ活動の場の確保と既存施設の有効活用</li> <li>・生涯にわたる多様な学びのニーズへの対応、スキルを有する地域人材の活用</li> </ul>			
行動目標	学ぶ楽しさ分かち合い、活動の輪を広げよう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	学習支援活動（いづな大学、いづな教室、まちづくり講座等）の開催数<施策1>	0回	40回	
	子ども向けプログラム開催数<施策1>	5回	10回	
	生きがいづくりにつながるプログラム開催数<施策1>	15回	20回	
	公民館図書室と中学校図書館の蔵書数<施策2>	56,993冊	58,000冊	
	公民館図書室と中学校図書館の図書貸出数<施策2>	19,959冊	21,000冊	
	住民 評価	多様な学習機会の創出満足度<施策1>	32.2%	↑
		生涯学習拠点の充実満足度<施策2>	33.3%	↑
		楽しみながら何かを学ぶ取組をしている（グループ活動、趣味の会等）	33.4%	↑
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
A 順調 (目標以上に進捗)	B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)	C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)	D 遅れている (目標の5割以下の進捗)	
				B
<課題>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域人材活用の観点から、スキルバンク等の整備が必要であるが、現状はスキルバンクの創設まで至っていない。</li> <li>・おすすめブックリストの配布時期の検討。</li> </ul>				
<方向性>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のつながりが希薄になる中で、地域で活躍する人材の確保・育成の観点からも、スキルバンク等の開設に向けた取組をボランティア連絡会などの協力を得ながら進めていく。</li> <li>・おすすめブックリストについては、3歳児から小学生を対象に配布したが、今後はファースト・セカンドブックの配布時に合わせて配布し、乳幼児とその保護者の読書体験・読書活動の促進を図っていく。</li> </ul>				

施策1	多様な学習機会の創出・地域社会との連携						達成度評価	担当係等
①	公民館や図書館等において、社会環境や住民ニーズに応じた魅力ある講座や教室を企画するなど、幅広い年代層の住民が参加できる多様な学習機会の提供に努めます。						B	生涯学習係
②	社会教育団体等の活動を支援するとともに、活動内容等の情報提供を行うなど、誰もが・いつでも・気軽に学べる環境づくりを推進します。						C	生涯学習係
③	経験や知識・能力をもった地域の人材を講師等に活用することにより、地域の支え合いの環境づくりを推進します。						C	福祉係/生涯学習係
④	健康や生きがいづくりに関する講座や世代間の交流の機会を設けるなど、誰もがいきいきと生活できる環境づくりを推進します。						C	地域振興係/福祉係/生涯学習係
⑤	子どもたちに自らの可能性に気付かせる学びの場や、仕事のやりがい等を知り・学べるプログラムの提供を通じて、未来の町を担う人材育成を図ります。						B	地域振興係
K P I ①	学習支援活動（いづな大学、いづな教室、まちづくり講座等）の開催数（回）						生涯学習係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	0	—	—	—	—	40	78%	
実績		32	31	31				
K P I ②	子ども向けプログラム開催数（回）						地域振興係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	5	—	—	—	—	10	50%	
実績		6	17	5				
K P I ③	生きがいづくりにつながるプログラム開催数（回）						地域振興係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	15	—	—	—	—	20	30%	
実績		19	12	6				
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いづな大学、いづなカルチャー教室の実施。</li> <li>・ 飯網女性会議等への補助金交付による活動支援の実施。</li> <li>・ いづなっ子クラブ、いづな教室、読み聞かせボランティア等の講師に地域人材を活用。</li> <li>・ 健康いきいき教室や子ども向けスポーツクラブ等の実施。</li> <li>・ 可能性発見プログラム（小学生向け）、起業体験プログラム（高校生向け）等の人材育成プログラムの実施。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いづな大学やいづな教室の参加者は減少傾向にあることから、学びの内容等のニーズを把握し、それを踏まえた講座メニューの検討を行う。</li> <li>・ 町内のサークル等、多様な活動団体の掘り起こしとその支援施策等について検討するとともに、既存団体との連携を強化する。</li> <li>・ 教える側と教わる側の双方の増加が地域の支え合いに繋がることから、常にニーズの把握と人材発掘を意識する。</li> <li>・ いきいき教室への参加者は減少傾向にある。事業の方向性の検討が必要。</li> <li>・ 継続的な人材育成の仕組みとして、いづなコネクト等を活用し、学校教育を補完するキャリア教育プログラム等の創出・提供を図っていく。</li> </ul>							

施策2	生涯学習の環境づくり						達成度評価	担当係等
①	地域のコミュニティや学習の拠点となる地域集会施設の維持や整備を支援します。						A	地域振興係/人口増推進室
②	図書施設の機能やサービスの向上を図るとともに、乳幼児へ絵本等を贈る事業（ファーストブック等）や図書館イベント等を充実させることにより、町民の読書活動を推進します。						A	生涯学習係
③	民間活力を導入するなど、既存施設を地域活性化の拠点として活用を図る施設運営を推進します。						B	地域振興係
K P I ①	公民館図書室と中学校図書館の蔵書数（冊）						生涯学習係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	56,993	—	—	—	—	58,000	113%	
実績		61,316	61,316	65,487				
K P I ②	公民館図書室と中学校図書館の図書貸出数（冊）						生涯学習係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	19,959	—	—	—	—	21,000	99%	
実績		20,300	20,417	20,983				
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集会施設整備事業補助金等による地域集会施設の維持、整備への支援。町民交流センターZQの運営。</li> <li>・県との協働事業「デジとしょ信州」の導入。ファーストブック、セカンドブック、サードブックのプレゼント実施。乳幼児、小学生、中学生への読み聞かせの実施。など。</li> <li>・「いづなコネクト」（指定管理者：カンマッセいづな）、多世代交流拠点「メーラプラザ」（指定管理者：社会福祉協議会）を地域活性化拠点として、民間活力により運営。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集会施設整備事業補助金については、補助率を上げて地域の負担軽減を図っている。今後も地域コミュニティの拠点として適切な施設維持管理と活性化が図れるよう、ハード・ソフトの両面から柔軟な支援体制の構築を図っていく。</li> <li>・デジとしょ信州の利用促進を図るため、啓発・広報に力を入れていくとともに、学校等でのデジとしょ信州の利活用について検討していく。また、乳幼児からの本との関わりは、心の成長に欠かせないため、年齢に合わせた定期的な読み聞かせやイベント等を継続していく。</li> <li>・いづなコネクトEAST・WEST、メーラプラザの利用者数は増加傾向。地域の活性化拠点として、当初見込み以上の効果的な活用が図られている。いづなコネクトEASTの3階をサテライトオフィスとして改修を行い、新たな企業やイベント等を開催し更なる施設利用者増を推進する。</li> </ul>							

第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】

分野3	産業・観光			
基本方針	創意工夫による新たな産業・しごとの創出と地域に根差した産業基盤の継承			
政策1	儲かる農業の推進			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	産業観光課農政係・耕地林務係			
課題と方針	<p>農業経営基盤の強化と多様な担い手の確保・育成を図るとともに、農業の価値と魅力を高めることにより、持続可能で競争力のある農業を推進します。</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業従事者の高齢化への対応、新たな担い手の確保・育成</li> <li>・ 鳥獣被害や耕作放棄地の増加、農地の荒廃化への対応</li> <li>・ 農産物のブランド力の更なる強化と持続可能なビジネスモデルの確立</li> </ul>			
行動目標	地元の食材をたくさん食べて、地域の農業をみんなで支えよう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	平成29年度からの新規就農者数（累計）<施策1>	9人	20人	
	認定農業者数<施策1>	108人	120人	
	担い手への農地利用集積延面積<施策1>	287ha	350ha	
	農業所得額<施策2、3>	1.0億円	2.0億円	
	農業収入額<施策2、3>	22.8億円	25.0億円	
	住民 評価	農業経営基盤の維持・強化満足度<施策1>	16.9%	↑
		世界に誇る生産・販売体制づくり満足度<施策2>	28.3%	↑
		農産物のブランド化と販路開拓満足度<施策3>	22.2%	↑
		地元の食材を積極的に食している（家庭菜園、町内直売所利用含む）	76.1%	↑
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
B	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多角的な農業経営プログラムなどの体系的な学びの場や学校給食をキッカケとした地産地消の推進などを直売所・加工所を拠点として進めてきたことで、「飯綱町の6次産業的発展に向けた提言書」に沿う形で進展。</li> <li>・ 6次産業の推進として、直売施設や加工施設等を整備し、農産物の販売力強化等を進めてきたことで、EC販売等の拡充、直売所の販売額増、都市部等への販路拡大など、一定の事業進捗。</li> <li>・ 三本松加工所を拠点に農産物の加工品の研究、製造体制の構築が進み、商品開発の成果も現れている。</li> </ul>			
	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 将来の地域農業の姿を考えた時に、個々の農業者だけでは農業を維持しきれない状況になってきている。</li> <li>・ 直売施設や加工施設等の整備や運営販売体制の強化を進めてきた一方で、生産基盤整備が脆弱。</li> <li>・ 推奨品制度は形骸化しており、登録後の効果的な活用と製造者のメリットが少ない。</li> </ul>			
A 順調 (目標以上に進捗)	<p>&lt;方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集落営農組織や農業法人などの設立・誘致等について、引き続き積極的に検討していく。地域計画をもとに地域との懇談会を積極的に実施し持続可能な地域農業を目指していく。</li> <li>・ 認定農業者等の担い手農家の支援、集落営農等の設立、水田の畑地転換等を進めていくことで、安定した持続性の高い産地づくりに向け、生産基盤・体制整備の方向性を具体化していく。</li> <li>・ 推奨品制度について、4事業者と個別相談会などを実施するなど、特産品づくりの支援を実施。町で生産される農畜産物の活用、産業の振興につなげていくために、今後も新たな加工品開発等の支援を進めていく。</li> </ul>			
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)				
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)				
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)				

施策1	農業経営基盤の強化・持続可能な経営支援						達成度評価	担当係等
①	新規就農者や認定農業者への支援を充実させるとともに、集落営農の組織化や農業の法人化を促進・支援します。						B	農政係
②	農作業の受託や援農サービスの充実を図るとともに、スマート農業等による機械化・省力化に向けた取組を進めます。						B	農政係
③	農業を支える新たな活力として、兼業・多業農家や農業をより広い領域でビジネス展開する事業者など、多様な農業経営の担い手確保・育成を図り、地域農業の持続的発展を進めます。						B	農政係
④	経営規模の拡大を図る農家に対する農地の利用集積を進めるとともに、農道、用水路、ため池などの農業生産基盤・農業施設の整備を行います。						C	農政係／耕地林務係
⑤	自然災害や価格の低下等、様々なリスクに対応する収入保険等への加入促進支援を拡充するなど、農業経営の安定化に向けた取組を図ります。						A	農政係
⑥	中山間地域に適した作物栽培の奨励・新たな作物導入などにより、耕作放棄地の発生防止と農地の有する多面的機能の保持に努めます。						C	農政係
⑦	鳥獣被害を抑えるため、猟友会の活動や農家による自主防衛策への支援を行うとともに、侵入防止柵や広葉樹の植栽等による緩衝帯の整備を進めます。						B	耕地林務係
K P I ①	平成29年度からの新規就農者数（累計）（人）						農政係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	9	—	—	—	—	20	80%	
実績		12	13	16				
K P I ②	認定農業者数（人）						農政係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	108	—	—	—	—	120	94%	
実績		111	112	113				
K P I ③	担い手への農地利用集積延面積（ha）						農政係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	287	—	—	—	—	350	114%	
実績		327	342	400				
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農者や認定農業者に対する補助金等による支援。新規就農者に対する専門家等で構成する支援チームによる伴奏支援の実施。</li> <li>・スマート農業の推進として、LPWA通信網等を活用した農業用観測センサーを試験的に設置。</li> <li>・新規就農者や若手農業者等を対象とした、農業経営支援の仕組として、いづな農業経営塾「アグリチャレンジ塾」を実施。</li> <li>・農地の利用集積の実施。地域計画に基づく農業者への賃借権の設定。用排水路改修。</li> <li>・果樹共済と収入保険の掛け金の一部を補助。</li> <li>・遊休荒廃地対策や地産地消の推進等を目的に、奨励作物の栽培・出荷農業者に対し奨励金を交付。</li> <li>・鳥獣被害防止対策補助金の交付。有害鳥獣対策協議会(猟友会)による月2回程度の一斉捕獲の実施及び罠の設置。</li> </ul>							

達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等
<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農者や認定農業者は、町の農業の担い手となるキーパーソンであることから、幅広く支援していくとともに、町独自の支援策等の拡充についても検討していく。</li> <li>・農作業の省力化に向けては、ドローン活用や農業ロボット等の最新技術の試験導入等も検討していくほか、中山間地域の農業が抱える様々課題解決に向けて、関係機関と連携を図りながら取り組んでいく。</li> <li>・様々なセミナーや学習会を開催していく中で農業者同士の新たなコミュニティも活発化しており、農業を営んでいく上での課題や悩みなどの話し合いの場につながっている。</li> <li>・令和6年度をもって農業経営基盤強化促進法による「利用権設定」が終了し、令和7年度からは農地中間管理事業による農地の貸借及び農地法3条による貸借権の設定となるが、引き続き担い手等への農地集積を進めていく。</li> <li>・凍霜害や台風などによる、農産物の収量減少リスクは今後も高まっていくことが予想されるため、保険等への加入促進を推進していく。</li> <li>・奨励作物の支援を実施しているが、昨今の気候変動により出荷量が不安定、また、品質低下の状況にある。栽培条件など町に適した新たな奨励作物について検討し、特産品化・付加価値性の高い作物を導入していく必要がある。</li> <li>・緩衝帯整備や防護柵設置など地域ぐるみで「寄せない対策」をするための集落環境整備の実施に支援をしていく。</li> </ul>

施策2	世界に誇る生産・販売体制の構築						達成度評価	担当係等
①	加工・販売拠点を起点に、六次産業化や「地域地商」によるビジネスモデルを構築するなど、農家の所得向上に向けた取組を加速させるとともに、農産業を軸とする「地域総合商社」機能の体制構築を進めます。						A	農政係
②	競争力のある産地づくりに向けて、生産性・効率性の向上のための基盤整備・体制構築を推進するとともに、ICT（情報通信技術）の活用や農産物の高付加価値化など、多角的な取組を進めます。						A	農政係
③	安全・安心で質の高い農業を実現するため、減農薬栽培や有機資源を活用した地域循環型の農業体系を進めます。						A	農政係
K P I ①	農業所得額（億円）						農政係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	1.0	—	—	—	—	2.0	100%	
実績		0.04	0.67	2.0				
K P I ②	農業収入額（億円）						農政係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	22.8	—	—	—	—	25.0	115%	
実績		27.7	27.5	28.8				
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと振興公社を中核とした「地域商社機能」の構築を進めた。直売所・加工所は、町内の農業者の販売・商品化の拠点として、その機能強化と利便性の向上等を図るため、外部人材を活用して、新たな販売方法や販路構築等を展開。</li> <li>・農産物の高付加価値化に向け、新たな加工商品の開発及びテスト販売、また、町オリジナルのリンゴ品種やりんごの自然栽培の試験栽培を実施。</li> <li>・フェロモン防除の推進や環境保全型農業長苦節支払制度等による支援。有機野菜栽培を実践する「野菜塾」の開催。</li> </ul>							
達成度評価	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域商社としての役割を牽引していく事業体と位置付ける、ふるさと振興公社の機能強化と、農業者・農業法人等と振興公社との連携強化による商社機能の体制構築が急務。</li> <li>・農作物の高付加価値化についても現在取り組んでいる新たな加工品等を軌道に乗せ、生産・販売体制も構築していく。</li> <li>・有機農産物の生産者と作付面積を増やし、農産物の付加価値を高めていくことで、町の農業振興の発展、環境負荷の軽減につなげていくなど持続可能な農業へとつなげていく。</li> </ul>							

施策3	農産物のブランド化と販路開拓	達成度評価	担当係等
①	農畜産物のブランド力・販売競争力を強化するため、こだわりや希少価値による独自のブランド商品開発等を推進するとともに、多様な販売・流通経路の構築による海外・首都圏への販路拡大を進めます。	A	農政係
②	学校給食などへ町内産農畜産物を安定して供給できる仕組みを構築し、地産地消を推進します。	B	農政係
③	町内産農畜産物を用いた特産品の開発・販売など、地域の資源や特性を活かした事業を支援します。	B	農政係
④	農業体験や農家民泊の受入れなど、消費者と生産者の交流機会などを通じ、農産業・農産物の持つ魅力と価値を高めます。	B	農政係
K P I	対応KPIは施策2同様／住民評価指標のため、次期総合計画策定時に検証・評価		
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物のプロモーション活動、イベント等への参加により、町内農産物の認知度とブランド力の強化を推進してきたほか、首都圏等での新たな販売流通網の構築を図った（新たに、銀座ナガノでの海外品種りんごPR、新潟県上越市での町産りんごPR、茨城県古河市・静岡県焼津市のスーパーと連携した町産りんごの販売など）。</li> <li>・地産地消の推進を図るため、ふるさと振興公社による学校給食への供給体制の整備と供給量の増に向け実務担当者会議を実施。また、当取組を促進させるため地域おこし協力隊員を任用し出荷者への説明会や供給体制構築に着手。</li> <li>・地域の農産物資源を用いた加工品の開発に対して経費の一部を補助。</li> <li>・町内で行う農業体験（ワーキングホリデーなど）の受入及び宿泊費の一部補助。都市部の人を対象としたりんご栽培を学べる場、「りんご学校」の開催。</li> </ul>		
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等		
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物のプロモーションとして各種イベントに参加して町の農産物等の販売やPRを行っているが、継続的な取り引きにつながっていないため、新たな販売方法や販路先の確保などを模索していく。</li> <li>・町内産農産物の学校給食への安定供給と町内産有機農産物の学校給食への導入体制を構築していくために、生産から搬入までを適切にマネジメントしていく人材として、今年度から地域おこし協力隊員を任用し体制づくりを進めてきた。今後、安定した供給体制を整備していく上で、出荷者や学校給食関係者等と連携し推進していく。</li> <li>・特産品開発支援事業補助金については、町農畜産物を活用した特産品開発として有効な支援であることから、今後も広く周知し活用してもらうよう取り組んでいく。</li> <li>・農業体験等を通じた交流・関係人口の創出に向けて、ワーキングホリデーやりんご学校などの事業を実施しており、都市部でのマルシェのスタッフとしての協力を得るなどの関係が生まれている。町内農家への働き手として誘導していく取組も検討していく。</li> </ul>		

第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】


分野3	産業・観光		
基本方針	創意工夫による新たな産業・しごとの創出と地域に根差した産業基盤の継承		
政策2	商工業振興によるにぎわいのあるまちづくりの推進		
関連するSDGs			
主な担当課・担当係	産業観光課商工観光係／企画課地域振興係・企画係・DX推進室・人口増推進室／教育委員会子育て支援係		
課題と方針	複数の事業の組み合わせや協業等により、安定した雇用の創出、既存事業の維持・承継、更		
行動目標	町の商店を積極的に利用し、地域の商工業をみんなで支えよう！		
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)
	平成26年度からの空き店舗への出店件数（累計）＜施策1＞	4件	10件
	創業支援資金利用件数＜施策1＞	4件	5件
	企業誘致件数（累計）＜施策1＞	4件	6件
	特定地域づくり事業協同組合員数＜施策2＞	0者	4者
	創業比率＜施策2＞	1.53%	1.80%
	仕事に関するプログラムの開催数＜施策2＞	10回	10回
	コワーキングスペース利用者数＜施策2、3＞	1,100人	2,000人
	事業チャレンジ提案数（累計）＜施策3＞	27件	60件
	住民 評価	にぎわいのあるまちづくり満足度＜施策1＞	13.9%
雇用・就業の環境づくり満足度＜施策2＞		16.6%	↑
町内の店舗を積極的に利用している（スーパー、飲食店、コンビニ等）		73.5%	↑
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等		
C	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・創業・起業を支援していく機運を高めてきた他、空き店舗活用補助や創業支援補助なども拡充してきたことで、空き店舗等の活用による新たな出店等も増加している。</li> <li>・ワーケーション構築事業は、様々な対象者をターゲットに試験実施したことで、多様な都市部企業や人材に対し、町に対する関心を高めることができた。</li> <li>・テレワークに関する協力隊の配置や施設整備、研修会等を開催することで、テレワーク等による多様な働き手が増加。</li> </ul>		
	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街の賑わい創出・活性化には、店舗等の増加や魅力的な店舗の進出が不可欠。</li> <li>・高齢者等の就業機会の創出。</li> <li>・いろいろな事業チャレンジへの参加者は年々減少傾向。</li> </ul>		
A 順調 (目標以上に進捗)	<p>&lt;方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街活性化に向けた具体的な取組等を進めていく上で、商店街関係者等との意見交換や協議を行い、効果的な取組や事業の方向性を探るとともに、国の補助事業の活用などについても研究・検討を進めていく。</li> <li>・シルバー人材センター等とも協力し、高齢者の特技等を把握し、個々の適正にあった「やりがい」の持てる就業の場・マッチング等の機会や仕組みづくりを進める。</li> <li>・創業・起業に向けたプログラムとして「小商い講座」を開催。プログラム内容及び支援体制、事業の拡大を目指す方へのサポート等を見直ししながら、創業・起業を目指す人材の呼び込みと支援の仕組みを継続（伴走）・発展させていく。</li> </ul>		
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)			
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)			
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)			

施策1	歩きたくなるまちづくりの推進						達成度評価	担当係等
①	空き店舗や空き家を活用した創業・新規出店を支援するとともに、助成制度を充実するなど、企業の誘致に取り組みます。						A	商工観光係
②	商店街の活性化に向けたイベントや産業まつりを開催するなど、にぎわいの創出や消費の促進を高める取組を推進します。						C	商工観光係
③	創業支援や事業承継に関する講座を積極的に開催するなど、商店街のリーダーや商工業の後継者の育成を支援します。						D	商工観光係
④	制度資金や融資あっせん等により、企業の経営基盤の安定と強化に取り組みます。						B	商工観光係
⑤	クラウドファンディングの活用などによる、新たなビジネス展開を支援します。						C	商工観光係
⑥	民間活力による買い物しやすい環境づくりを推進し、地域経済の活性化を図ります。						C	商工観光係／DX推進室
KPI①	平成26年度からの空き店舗への出店件数（累計）（件）						商工観光係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	4	—	—	—	—	10	100%	
実績		7	8	10				
KPI②	創業支援資金利用件数（件）						商工観光係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	4	—	—	—	—	5	0%	
実績		3	4	0				
KPI③	企業誘致件数（累計）（件）						商工観光係／地域振興係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	4	—	—	—	—	6	67%	
実績		4	4	4				
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空き店舗活用補助金や創業支援補助金による、創業・起業家に対する支援の実施。</li> <li>・ 牟礼駅前夏祭りの開催に対し、商店街振興事業補助金を交付するなど、商店街の活性化等の取組を支援。</li> <li>・ 制度資金の融資あっせんや利子補給等による支援の実施。</li> <li>・ 移動販売事業補助金による移動販売事業者支援（遠隔地の高齢者等の買い物手段を確保）の実施。スマートグラスを活用した「お買い物サポート」の実施。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商店街には空き店舗・空き家が存在し、既存店舗等の継続も不透明なことから、創業支援補助金等を拡充し、町内での起業・出店等を更に促進させていく。</li> <li>・ 牟礼駅前夏祭りの賑わいが定着化しつつあることから、今後は夏の一大イベントとして更に発展することで賑わいの創出・消費拡大等につながるため、支援を継続する。</li> <li>・ 融資制度等については一定の活用があり、目的は達成されているが、物価高により事業者等の経営が厳しさを増している状況もあることから、経営安定化等に対して、必要性・効果性の高い新たな支援等についても研究していく。</li> <li>・ 移動販売事業者に対する補助については、今後も高齢者人口は増加傾向にあることから継続する。町の実情にあった取組等を試験的に導入する等、引き続き買い物しやすい環境について研究を進めていく。</li> </ul>							

施策2	雇用・就業の環境づくり、創業・起業支援						達成度評価	担当係等
①	いづなコネクトEASTを拠点に、「しごとの創業」や「しごとを通じた交流」の展開を通じて、地域経済の活性化を図り、都市部から企業や人の流れを創出します。						C	地域振興係/人口増進室
②	「しごと」に関する情報の提供について多くの機会を設けるとともに、関係機関と連携し、若者が地域で働きやすい環境を創出します。						C	商工観光係/地域振興係
③	労働意欲を持つ高齢者などの経験・知識や能力を活かした就業機会の創出を支援します。						D	商工観光係/地域振興係
④	多様な働き方を推進し、性別や年齢、障がいの有無などの個々の属性にとらわれず、全ての人々が安心して地域で働くことのできる環境を整えます。						D	地域振興係/商工観光係/福祉係
⑤	町全体の仕事を組み合わせて年間を通じた仕事を創出し、地域の担い手を確保するとともに事業者の維持・拡大を推進します。						B	企画係
KPI①	特定地域づくり事業協同組合員数（者）						企画係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	0	—	—	—	—	4	0%	
実績	0	0	0					
KPI②	創業比率（%）						地域振興係/商工観光係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	1.53	—	—	—	—	1.80	66%	
実績	0.76	1.05	1.18					
KPI③	仕事に関するプログラムの開催数（回）						地域振興係/商工観光係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	10	—	—	—	—	10	200%	
実績	19	20	20					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しごと創出プログラム「いづなフューチャースクール」事業を通じた、ローカルベンチャー育成と都市部等との交流創出の実施。ワーケーションの実証実験。</li> <li>・連携中枢都市圏事業として広域で運営する、就職情報サイト「おしごとながの」により、しごと情報を提供。</li> <li>・特定地域づくり事業協同組合の設立に向けた準備を開始。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いづなフューチャースクール」のプログラム内容等の拡充（都市部企業・人材と町内事業者や起業人材等との交流やマッチング機会のプログラムづくりなど）により、都市部からのしごとと人の流れを生んでいく仕組みを構築していく。</li> <li>・町内外の様々なツールを活用し、幅広く求人・就職情報等の提供ができています。今後も、関係機関（商工会、ハローワーク長野等）との連携や、「おしごとながの」への求人情報登録の案内等を行い、若者が町内で働くことを選択していける環境づくりと支援体制を整備していく。</li> <li>・特定地域づくり事業協同組合制度の活用について、事業者等との話し合いを進めながら、方針・方向付けを行い、農業・観光業・加工業等の10者程による事業協同組合の設立を目指す。</li> </ul>							

施策3	稼げる地域・多様な仕事のある地域の実現						達成度評価	担当係等
①	地域資源を活用した産業を支援し雇用の創出を図ります。						C	地域振興係/ 商工観光係
②	地方での新たな働き方と多様なしごとを創出するため、サテライトオフィス等の整備を進めるとともに、県外企業等の誘致を積極的に推進します。						B	地域振興係/ 商工観光係
③	創業や創業後のヒントや情報を得られるセミナー等を実施し、いづな事業チャレンジに向けたサポートを積極的に推進することで、ローカルベンチャーの育成に努めます。						C	地域振興係
④	町内のコワーキングスペース等を活用し、多様な働き方が可能な地域社会の形成に向けた雇用創出型テレワーク組織の整備を進めます。						B	地域振興係/ 子育て支援係
⑤	いづな事業チャレンジのOB・OGへのアフターサポートを充実させ、稼げるビジネスの創出を進めます。						D	地域振興係
K P I	コワーキングスペース利用者数（人）						地域振興係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	1,100	—	—	—	—	2,000	44%	
実績		735	901	889				
K P I ②	事業チャレンジ提案数（累計）（件）						地域振興係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	27	—	—	—	—	60	93%	
実績		30	42	56				
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きなことや、やってみたいことを事業化する「小商い講座」を実施。</li> <li>・いづなコネクT EAST 3階をサテライトオフィス及びテレワークスペースに改修。施設の指定管理者と連携しながらサテライトオフィス誘致の促進。</li> <li>・しごとの創業・交流拠点いづなコネクT EASTの「ツクリバ」を中心に、若い世代が気軽に相談・集える機会と場を提供。創業支援の地域おこし協力隊を配置し、事業の推進。</li> <li>・テレワーク等推進支援事業（PR動画作成講座、Canbaデザイン講座）の実施。</li> <li>・しごとの創業・交流拠点いづなコネクT EASTの「ツクリバ」を中心に、事業チャレンジのアフターサポートや新たなビジネスモデルの相談等を実施。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・りんご残渣を原料とするりんごレザの取組などをきっかけに、地域資源に改めて着目し、事業化を図る意欲ある町内外事業者と連携を強化していく。</li> <li>・空室のサテライトオフィス（いづなコネクT WEST 2階とEAST 3階）について、指定管理者と連携して企業誘致を促進していく。</li> <li>・「ツクリバ」を拠点に、情報提供、交流の場づくり、ビジネス・起業セミナー等の支援提供などを展開・強化していくことで、雇用・就業・起業等に向けた環境づくりを進めていく。</li> <li>・ワークセンター（ワーキングスペース）の利用促進及び施設の活用を推進するため、施設の周知やセミナーの企画を強化する。</li> <li>・歴代事業チャレンジ参加者等のコミュニティ形成、事業チャレンジ参加者と町内外の事業者等との連携支援等を進めることで、新たなビジネス創出や事業拡大等を図っていく。</li> </ul>							

第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】


分野3	産業・観光			
基本方針	創意工夫による新たな産業・しごとの創出と地域に根差した産業基盤の継承			
政策3	町の魅力を活かした観光まちづくりの推進			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	産業観光課商工観光係／企画課企画係・地域振興係／建設水道課建設係			
課題と方針	<p>地域の暮らしや産業とともにある美しい自然や景観、歴史・文化、食などの町の魅力の醸成を図り、それを来訪者に満喫してもらう観光まちづくりを推進します。</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウィズコロナ時代における新しい旅のスタイルへの対応</li> <li>・インバウンド（訪日外国人旅行者）のニーズの取り込みと受入れ環境の整備</li> <li>・周辺市町村等との広域的な連携</li> <li>・来訪・滞在を促す魅力発信力の強化</li> <li>・利便性の高い交通手段の確保</li> </ul>			
行動目標	みんなで観光客を「おもてなし」しよう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	公園整備数<施策1>	0か所	4か所	
	観光客数<施策2>	15万人	50万人	
	外国人宿泊者数<施策2>	0人	100人	
	町観光サポーターの登録者数<施策2>	7人	30人	
	飯綱町ファン倶楽部会員数（累計）<施策2>	420人	500人	
	インバウンド周遊プランの作成<施策2>	1プラン	3プラン	
	iバスコネクト利用者数<施策3>	89人	320人	
	住民 評価	誰もが懂れる観光地づくり満足度<施策1>	15.7%	↑
		国内外からの誘客の促進満足度<施策2>	12.4%	↑
観光客をおもてなししたい気持ちがある		45.9%	↑	
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
<b>C</b>	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飯綱町ファン倶楽部会員数の増加。</li> <li>・iバスコネクトの利用者増。</li> </ul>			
A 順調 (目標以上に進捗)	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光施策としての体験型メニューやプログラムづくりの整備。</li> <li>・近隣では外国人観光客数がコロナ前を上回っているが、飯綱町では誘客が進まない状況。</li> <li>・土休日、冬期間の二次交通手段の不足。</li> </ul>			
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)	<p>&lt;方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光プログラムを企画できるプランナーの存在が不可欠であるため、地域活性化起業人などの専門知識を有する人材の登用が必要。また、民間事業者の有する資源やノウハウも含めて、町の観光メニュー全体をコーディネートし、観光プログラムとして整備・運営を中心的に担っていく人材・体制を整えていく。</li> </ul>			
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インバウンドの取組を進めるための体制づくり等について、改めて検討・研究していく。</li> </ul>			
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次交通手段として、レンタカーやタクシーの利用ニーズが高いと考えられる。訪問者・観光客等の移動手段の一つとして、カーシェアリング導入の検討に併せて、タクシー事業者の育成やタクシー料金の廉価化に向けた取組について研究・検討を進めていく。</li> </ul>			

施策1	誰もが憧れる地域づくりの推進						達成度評価	担当係等
①	地域の歴史や文化、自然など、特色ある資源を活かした町ならではの体験型の観光メニューを充実させます。						D	商工観光係
②	農業、スポーツ、文化など分野間の連携を深め、魅力ある観光プログラムを提供します。						D	商工観光係
③	計画的な施設の更新や充実を図るとともに、国外を含む外部からの視点を取り入れるなど、観光資源の磨き上げを行います。						D	商工観光係
④	県内市町村及び隣接県や事業者との広域観光連携を推進します。						B	商工観光係
⑤	町内に多世代が交流できる公園を整備し、多様な人々が集うイベント等を開催することで町の露出度を高め、にぎわいを創出します。						C	建設係/地域振興係/ 企画係
K P I ①	公園整備数（か所）						建設係/地域振興係/商工観光係/ 企画係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	0	—	—	—	—	4	50%	
実績		1	1	2				
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信越9市町村広域観光連携会議、JR東日本企画「旅する北信濃」などの広域観光連携の取組に参画し、広域連携事業を推進。</li> <li>・牟礼駅の高台に整備した自然公園の効果的な活用等の検討・協議。いづなコネクT EASTの公園整備を実施。いづなコネクT WESTの公園整備に向け地域や指定管理者等と協議を実施。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光者視点での広域周遊プラン・メニュー等の企画・構築などを具体的・実践的に進めていく。</li> <li>・公園の効果的な活用及び地域と連携した活用方法の検討、イベント実施等についても引き続き研究を行う。また、いづなコネクT WESTの公園化を進める。</li> </ul>							

施策2	国内外からの誘客の促進						達成度評価	担当係等
①	広域的な観光連携の取組のなかで、効率的な情報発信に努めるとともに、SNSなどの時代に即した様々な媒体による情報提供を進めます。						D	商工観光係
②	ウィズコロナに応じたインバウンド誘客策を検討し、外国人観光客の招致と受入体制の充実を図ります。						D	商工観光係
③	来訪者に対して、地域の案内・紹介等を行う観光ボランティアや町の魅力、各種情報を口コミなどで発信する観光サポーターの育成を図るなど、町を愛する全ての人により町をPRする機運を高めます。						D	商工観光係
④	旅行会社の体験ツアーなど、民間事業者と連携し新たな誘客を図ります。						D	商工観光係
⑤	ウィズコロナに応じたアウトドア等の観光施設を整備し、誘客を推進します。						D	商工観光係
KPI①	観光客数（万人）						商工観光係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	15	—	—	—	—	50	40%	
実績		21	21	20				
KPI②	外国人宿泊者数（人）						商工観光係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	0	—	—	—	—	100	—	
実績		51	226	—			(R6以降集計方法変更)	
KPI③	町観光サポーターの登録者数（人）						商工観光係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	7	—	—	—	—	30	37%	
実績		11	12	11				
KPI④	飯綱町ファン倶楽部会員数（累計）（人）						商工観光係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	420	—	—	—	—	500	62%	
実績		265	282	310				
KPI⑤	インバウンド周遊プランの作成（プラン）						商工観光係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	1	—	—	—	—	3	0%	
実績		0	0	0				
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北信市町村が参画するJR東日本企画の「旅する北信濃」に参画し、JR車内中吊り掲載、東京駅構内マルシェに参加するなどの情報発信を実施。</li> <li>・観光サポーターの確保と育成。</li> <li>・長電バス(株)への委託による「日帰り満喫バスツアー」の実施（春・冬）。</li> <li>・アウトドア施設の整備を定期的実施。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光協会や観光事業を柱とする民間事業者との連携により、訴求力のある情報を的確に発信していく体制づくりと、SNS等を用いた情報発信に精通する人材の確保・活用を進めていく。</li> <li>・観光サポーターは減少したものの、飯綱町ファン倶楽部の会員数は増加している。引き続き、町の情報発信のサポート役を担う人材の確保・育成に向けた取組を強化していく。</li> <li>・体験ツアーについては、例年同様の取組（現状維持）のみに留まり、民間事業者との新たな連携が図れていない状況。ツアー内容も数年変更されていないため、事業者と連携を図り、充実した内容にしていく。</li> <li>・アウトドア観光の見直しを図り、新たな魅力や付加価値を提案、PRしていく。</li> </ul>							

施策3	二次交通の利便性向上						達成度評価	担当係等
①	i バスコネクトの運行ダイヤ等を見直し利便性の向上に努めます。						A	企画係
②	E-バイクを活用する町内周遊方法について検討します。						D	商工観光係
③	カーシェアリング等、移動手段の確保について検討します。						D	商工観光係/企画係
K P I	i バスコネクト利用者数（人）						企画係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	89	—	—	—	—	320	217%	
実績		514	677	693				
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ i バスコネクトの運行方法をデマンド方式から定時路線方式へ変更。</li> <li>・ 牟礼駅にレンタルE-バイクを設置。観光協会でサイクリングコースを案内する等、E-バイク等を活用した町内周遊を促進。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ i バスコネクトの運行を定時路線方式に変更したが、1乗車あたりの行政支出は依然として大きい。費用対効果の観点から運行形態等の更なる改善や見直し等について検討が必要。</li> <li>・ E-バイクの活用に向けては、サイクルコンピュータの導入を検討するとともに、訪日外国人等をターゲットにした誘客を図るため、サイクリング周遊プランを整備していく。</li> </ul>							

第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】


分野4	安全・基盤			
基本方針	人口減少や自然災害、生活環境の多様なリスクに対応した安全な暮らしの実現			
政策1	暮らしを支える生活機能の維持・継承			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	建設水道課建設係・維持管理係・上水道係・下水道係／総務課危機管理室			
課題と方針	<p>既存のインフラの老朽化や生活を支えるインフラを維持しつつ、将来の人口動態を踏まえた計画的な整備・維持管理を進め、快適で安心・安全な生活基盤を継承します。</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口や交通量の減少への対応</li> <li>・インフラの長寿命化</li> <li>・安全で利便性の高い基盤整備</li> </ul>			
行動目標	ごみ拾い、草刈り、雪かきなどを積極的に行おう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	道路改良率<施策1>	49.8%	50.7%	
	道路愛護活動実施地区<施策1>	31地区	35地区	
	水道有収率<施策2>	69.4%	80.0%	
	下水道水洗化率<施策2>	91.5%	93.0%	
	住民 評価	暮らしと交流を支える道路整備満足度<施策1>	33.7%	↑
		生活環境の向上を図る上下水道整備満足度<施策2>	51.3%	↑
		安全・安心な居住環境整備満足度<施策3>	21.4%	↑
		ごみ拾い、草刈り、雪かきなど地域のボランティア活動に積極的に参加している	47.9%	↑
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
<b>B</b>	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行者の安全確保のため、歩道が狭い箇所の拡幅や安全対策路面標示を実施。</li> <li>・土橋配水池詳細設計を実施し、深井戸水源からの安定供給に備えた新設配水池の整備計画が進捗。</li> <li>・普光寺焚荒地区に2棟（4世帯）の若者住宅を建築し、整備計画が完了。</li> </ul>			
A 順調 (目標以上に進捗)	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・短時間集中豪雨等による道路冠水等。</li> <li>・水道管の老朽化対策。</li> <li>・管理不全空家や特定空家（保安上危険となるおそれのある空家）の増加。</li> </ul>			
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)	<p>&lt;方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路改良に当たっては、安全な通行確保を最優先し、自然災害防止対策や小規模側溝整備等を中心に整備を進めていく。</li> </ul>			
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人工衛星による漏水調査やAI劣化予測診断を導入し、老朽管の長寿命化と計画的更新を進めることで、将来的な更新需要や維持管理コストの低減を図る。</li> </ul>			
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定空家等については、地域からの情報提供に基づき調査・指導を実施している。空き家等対策協議会を設置し、助言・指導等の体制づくりを進める。</li> </ul>			

施策1	安全で快適に通行できる道路整備・維持管理						達成度評価	担当係等
①	町道の整備計画を策定し、計画的に幹線道路を整備するとともに、地域の実情に応じた生活道路の改良を進めます。						<b>C</b>	建設係
②	歩道の整備により歩行者の安全性を確保するなど、効果的な道路整備を推進します。						<b>B</b>	建設係
③	町道、橋梁等を計画的に点検・補修することにより、生活に欠かせない町道等の安全性を確保します。						<b>B</b>	建設係
④	雪道の安全計画を見直し、車道・歩道の除雪体制を強化するなど、冬期間の道路の安全性を確保します。						<b>B</b>	維持管理係
⑤	町道管理を区・組が行う自主的活動に対し、道路愛護活動として支援を行います。						<b>B</b>	維持管理係
K P I ①	道路改良率（％）						建設係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	49.8	—	—	—	—	<b>50.7</b>	<b>99%</b>	
実績		49.8	50.0	50.4				
K P I ②	道路愛護活動実施地区（地区）						維持管理係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	31	—	—	—	—	<b>35</b>	<b>71%</b>	
実績		26	24	25				
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経年劣化が著しい路線の舗装改良。側溝未整備箇所の道路冠水及び民地内流入防止に向けた排水路整備を主とした道路改良。</li> <li>・歩道幅員が狭い箇所の拡幅。横断歩行者の安全対策路面標示等の実施。</li> <li>・石原橋修繕工事の実施。</li> <li>・除雪体制強化のため、社会資本整備総合交付金を活用して、凍結散布機を購入。</li> <li>・区・組が自主的に行う町道の道路維持管理活動に対して補助金を交付。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、町道整備計画の策定を進めているが、整備計画の有無に関わらず、地域の実情に応じて計画的に整備を進めていく。</li> <li>・歩車分離を推進し、安全な歩道の整備を進めていく。</li> <li>・橋梁の老朽化が進んでおり、修繕が必要な施設が増加傾向にあるため、施設長寿命化の修繕だけでなく、集約（撤去）も含めた計画的な整備を進めていく。</li> <li>・除雪については、町民から様々な要望があり、細かな対応を求められるため、除雪・排雪の体制強化を進めていく必要があるが、オペレーターなど除雪作業を担う人材確保が課題。</li> <li>・地域が自主的に行う道路愛護活動は適切な道路維持管理に欠かせない活動であることから、継続して支援を行うとともに、取組・支援内容等の拡充についても検討していく。</li> </ul>							

施策2	生活の基盤となる上下水道等の整備・維持管理						達成度評価	担当係等
①	水道施設や水道管の老朽化による更新並びに耐震化を計画的に行い、安定した給水体制を確保します。						C	上水道係
②	水道水源の保全を図るとともに新たな水源を確保します。また、水質の向上を図るため、水道施設の改良や水道管の布設替えを行い、安全・安心な水を提供します。						C	上水道係
③	下水道への接続の普及啓発を行うなど、水洗化率向上を図ります。						B	下水道係
④	下水道事業の効率的な経営を図るため、広域化・共同化事業により処理施設の統廃合を推進するとともに、施設の老朽化対策や更新費用を的確に捉え、将来にわたり持続可能な経営基盤の確保及び適切な維持管理を推進します。						C	下水道係
K P I ①	水道有収率 (%)						上水道係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	69.4	—	—	—	—	80.0	93%	
実績		72.5	74.0	73.8				
K P I ②	下水道水洗化率 (%)						下水道係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	91.5	—	—	—	—	93.0	99%	
実績		92.7	92.8	92.8				
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・牟礼・三水地区を統合した新たな会計運営を開始。経営の一元化を図り、水道事業経営戦略の改定を実施。また、重要給水施設の耐震化を目的に、日向配水池系配水管布設替工事等を実施。</li> <li>・三水地区について、表流水依存から脱却し、安定した水質・水量を確保するため、土橋水源整備事業（深井戸取水施設建設）に着手。</li> <li>・下水道への接続の普及を図るため、農業集落排水管理組合広報に普及啓発記事を掲載を依頼するなど水洗化率向上を推進。</li> <li>・下水道施設の広域化推進として、農業集落排水施設クリーン上赤塩とクリーンピア倉井の公共下水道への統合・接続工事を実施。また、し尿等投入施設の建設工事に着手。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定した給水体制の確保と持続的経営のため、3～5年単位の事業計画ごとに必要給水収益を算定し、水道料金の改定や国庫補助事業採択を視野に入れた財源確保を行う。</li> <li>・新土橋水源は令和7年度中の稼働開始、日向系新配水池は令和8年度の完成を目指して整備を進めており、稼働・完成後には堀越・若宮地区を含む三水地区全域への安定供給と広域的なバックアップ体制を確立する。</li> <li>・下水道水洗化率は、微増・横ばい傾向。「建物の跡継ぎがない」等の理由から、下水道への切替をためらう方も多くみられることから、理由等の聞き取りとその結果に基づく対応・支援等を検討していく。</li> <li>・下水道処理場等施設の機械電気設備の更新計画を策定し、施設の長寿命化を図る。</li> </ul>							

施策3	安全・安心で快適な居住環境の整備・継承	達成度評価	担当係等
①	住宅の耐震診断や耐震補強の支援を行うことにより、町内建築物の耐震強化を促進します。	C	建設係
②	公共建築物やライフラインなどの耐震化を推進します。	C	危機管理室/各施設所管課
③	老朽化による倒壊等、保安上危険となるおそれのある空き家などの所有者へは指導を行うなど、適切な措置・対応を行います。	B	維持管理係
④	若者や高齢者等の多様なニーズに対応した町営住宅などの整備・確保を図ります。	A	維持管理係
K P I	住民評価指標のため、次期総合計画策定時に検証・評価		
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木造住宅耐震改修促進事業（耐震診断）の実施。</li> <li>・飯綱町国土強靱化地域計画（R4～R8の5ヶ年計画）に基づき耐震化等を推進。</li> <li>・管理不全空家や特定空家（保安上危険となるおそれのある空家）について、国の交付金の支援を受けて空家実態調査を実施。</li> <li>・R4年度より3ヶ年計画で普光寺焚荒地区に4棟（8世帯）の若者住宅の建築を実施しており、R6年度はA棟（2戸）B棟（2戸）が完成（全戸入居済）。</li> </ul>		
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等		
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅の耐震改修に対する補助金はあるものの、改修費用に要する自己負担も大きいため、改修工事にまで至らないケースが多い。耐震強化を促進するため、耐震診断・改修に対する支援の拡充を図っていく。</li> <li>・公共施設の耐震化等については、施設更新・改修等のタイミングや、強靱化地域計画等に基づき順次実施していく。</li> <li>・特定空家等への対応については、町民からの情報提供に基づく調査・指導等を実施している。しかし、相続等の諸問題もあり、今後益々増加していくことが危惧される。令和7年度に空家等対策協議会を発足し、助言・指導等の体制づくりを進める。</li> <li>・町営住宅等については計画的に整備を進めているが、移住ニーズ等が増加していることもあり、住宅需要に対して供給が追い付いていない。住宅需要に対応するため、今後も計画的に町営住宅等の整備・修繕を図っていくとともに、空家等を活用した住宅の供給体制整備等についても検討していく。</li> </ul>		

第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】


分野4	安全・基盤			
基本方針	人口減少や自然災害、生活環境の多様なリスクに対応した安全な暮らしの実現			
政策2	地域の防災力・防犯力の維持・向上			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	総務課危機管理室/建設水道課建設係/保健福祉課福祉係/教育委員会総務教育係/住民環境課生活環境係			
課題と方針	<p>自然災害や詐欺被害など、生活を取り巻く様々なリスクがあるなか、人口減少や高齢化で弱まる地域コミュニティや自助・共助※の力を高める、防災力や防犯力の維持・向上を図ります。</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・激甚化・頻発化する自然災害への対応</li> <li>・地域コミュニティによる防災力・防犯力の強化</li> <li>・災害リスクの高い地域における防災・減災対策</li> </ul>			
行動目標	日頃から備え、意識し、助け合おう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	自主防災組織の組織化率<施策1>	96.1%	100%	
	災害時支え合いマップを作成した地区数<施策1>	50地区	50地区	
	相互応援協定の締結件数<施策1>	36件	45件	
	火災発生件数<施策2>	3件	0件	
	シートベルト着用率（運転席・助手席）<施策2>	99.5%	100%	
	住民評価	災害に強いまちづくり満足度<施策1>	40.2%	↑
		安全に暮らせる社会づくり満足度<施策2>	32.5%	↑
		防災や防犯に対して、日頃から意識して備えている	67.0%	↑
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
<b>B</b>	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定緊急避難場所の表示看板整備が完了（15か所）。</li> <li>・機能別消防団員の増加。</li> </ul>			
A 順調 （目標以上に進捗）	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織の効果的な活動。</li> <li>・少子高齢化や働き方の多様化が進む中で、消防団員数は徐々に減少傾向。自然災害が多発する中で、消防団に求められる活動内容の幅が広がっている。</li> </ul> <p>&lt;方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織について、高齢化等により活動組織を担う人材の確保が難しい地区もあることから、リーダー等の人材確保や養成を推進する。</li> <li>・消防団について、社会実態に即した多様な活動参加形態や活動参加に対する柔軟な対応と体制を整えていくため、機能別消防団員の確保を進める。</li> </ul>			
B 概ね順調 （目標の7～8割の進捗）				
C やや遅れている （目標の5～7割の進捗）				
D 遅れている （目標の5割以下の進捗）				

施策1	自然災害への対応力の強化						達成度評価	担当係等
①	災害対策を迅速かつ確に実施するため、防災活動の指針である地域防災計画を町の情勢等に応じて見直します。						A	危機管理室
②	土砂災害や洪水の危険性のある場所や地震による揺れやすさなどの危険度を示した地図（ハザードマップ）を随時更新・周知し、災害発生時の避難活動などへの活用を促進します。						A	危機管理室
③	防災訓練や地区の集会等あらゆる機会を捉えて防災意識を啓発し、自助、共助を育み、住民等の意識の高揚を図ります。						C	危機管理室
④	地域における自主防災組織の設立を推進するとともに、その活動を行う上で中心となる人材を養成します。						C	危機管理室
⑤	住民参加型の実践的な訓練を実施し、防災力の強化を図ります。						C	危機管理室
⑥	高齢者や障がい者等が安全に避難できる体制を確立するため、災害の避難時に支援が必要な要配慮者、避難行動要支援者、避難所や福祉施設等を表記した地図（災害時支え合いマップ）を作成し、その内容を周知します。						B	福祉係
⑦	防災行政無線の戸別受信機の普及率向上を目指すとともに、町のメール配信サービス等、複数の情報伝達手段を確保します。また、ドローン等のデジタル技術を活用した情報収集機能を確立するなど、被害状況の把握や防災情報基盤の整備を推進します。						B	危機管理室
⑧	災害に備え、救助活動等に必要な資機材・食料品・医薬品などの備蓄を進めます。また、新型コロナウイルス等感染症対策を講じた上での避難所の役割が求められていることから、段ボールベッドや間仕切り等の設置や運営に係る備蓄品の整備を進めます。						A	危機管理室
⑨	災害発生時における各種応急復旧活動に関する人的・物的支援について、他市町村や民間事業者等と協定（相互応援協定）を結び、災害時に柔軟に対応できる体制づくりを進めます。						A	危機管理室
⑩	町の国土強靱化地域計画の策定を踏まえ、山地や河川など災害の危険性のある箇所を的確に把握し、土砂災害対策など、計画的な整備を進めます。						B	危機管理室
K P I ①	自主防災組織の組織化率（％）						危機管理室	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	96.1	—	—	—	—	100	95%	
実績		94.7	96.1	94.6				
K P I ②	災害時支え合いマップを作成した地区数（地区）						福祉係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	50	—	—	—	—	50	100%	
実績		50	50	50				
K P I ③	相互応援協定（災害時応援等に関する協定）の締結件数（件）						危機管理室	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	36	—	—	—	—	45	126%	
実績		55	58	58				

<p>主な実施事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の情勢に応じて地域防災計画の修正を実施。地域防災計画に基づき防災対策を推進するため、指定避難所への移動式エアコンや非常用階段等を設置。</li> <li>・転入者等へのハザードマップの配布。ハザードマップを活用した防災教育の推進（出前講座）。</li> <li>・出前講座等で防災・減災意識の高揚に向けた啓発活動を実施。</li> <li>・自主防災組織の運営に対する補助及び必要な資機材の購入に対する補助の実施。</li> <li>・災害時住民支え合いマップの更新。災害時住民支え合いマップを使った訓練の実施。</li> <li>・防災情報基盤については、防災行線無線、メール配信サービス、防災公式X等、複数の情報伝達手段を確保。</li> <li>・備蓄品（食料、飲料、パーテーション、トイレ、簡易ベッド等）の整備については、防災計画に基づく計画的な購入により、体制整備を進めている。</li> <li>・災害時における各種応援復旧活動に関する協定について、新たに1団体と締結。</li> <li>・災害の危険性のある個所については、関係機関との情報共有により的確な把握に努めるとともに、計画的に整備を進めていく体制の構築を図っている。</li> </ul>
<p>達成度評価</p>	<p>達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等</p>
<p><b>B</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防災計画について、国・県の計画等の変更を受けて隔年で計画の修正を図っていくとともに、計画に対して関心を深めてもらうため、各区等に対して積極的に働きかけを行っていく。</li> <li>・ハザードマップを防災教育及び転入者等に対する危険箇所の周知に活用している。各地区・分館学習会等の出前講座で周知・活用を図っていく。</li> <li>・防災訓練等は訓練内容等の形骸化が見られているため、より実践的な訓練の実施を促していく。</li> <li>・自主防災組織への補助金について、より人材の確保・育成に寄与する支援となるよう、内容等の見直しについても検討していく。</li> <li>・災害時住民支え合いマップ（町内全地区作成済）は浸透してきているが、マップを活用した訓練の実施や支援体制を強化していくことが必要。また、個別避難計画の作成を計画的に進めていく。</li> <li>・防災無線戸別受信機は、災害時の情報手段としての必要性が高いことから、未設置世帯の設置促進に努める。</li> <li>・災害備蓄品について、地域防災計画で計画されている備蓄数量の確保・整備を目指し、引き続き計画的に備蓄していく。</li> <li>・災害時応援協定が実際の災害時において有用に機能するよう、協定締結団体間での情報等の共有やより具体的な支援体制づくりを進めていく。</li> <li>・国土強靱化計画の策定に伴い、災害対策等の各施策の財源確保や整備計画等への具体的な反映を進めているところであり、引き続き防災体制の維持・向上に向けて体制を強化していく。</li> </ul>

施策2	安全に暮らせる社会づくりの推進						達成度評価	担当係等
①	女性を含めた消防団員の加入を促進するとともに、消防団の訓練や広報活動を充実し、災害対応も含めた防災対策を推進します。						B	危機管理室
②	長野市（長野市消防局）と連携し、鳥居川消防署を中心とした常備消防・救急体制の充実を図ります。						A	危機管理室
③	消防団員のなり手不足解消に向けて、報酬等の見直しや能力や実情に応じて特定の活動にのみ参加する機能別消防団員※の採用等を検討します。						B	危機管理室
④	関係機関と連携し、シートベルトの着用等の街頭指導を行うなど、交通安全に対する意識の高揚を図ります。						C	建設係
⑤	通学路等の標識やカーブミラーなど、交通安全施設の充実を図り、通学路の安全確保を図ります。						C	建設係/総務教育係
⑥	警察署が学校などと協力して設置する「こどもを守る安心の家」等と連携し、子どもの安全を守る対策を推進します。						B	総務教育係
⑦	特殊詐欺や悪質商法の被害など消費者トラブルを防止するため、広域連携での消費生活相談窓口の活用を強化します。						B	生活環境係
⑧	老朽化した防犯灯は、定期的な点検や修繕等対策を講じます。また、必要な箇所への防犯灯の新設や移設を進め、犯罪の未然防止に取り組みます。						B	危機管理室
K P I ①	火災発生件数（件）						危機管理室	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	3	—	—	—	—	0	0%	
実績		2	2	6				
K P I ②	シートベルト着用率（運転席・助手席）（％）						建設係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	99.5	—	—	—	—	100	97%	
実績		96.0	96.6	96.6				
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野消防協会と連携して消防団のPR事業を行うなど定期的に消防団への加入促進活動を実施。</li> <li>・鳥居川消防署を中心に、常備消防と救急体制の維持及び充実に向けて連携体制を強化。</li> <li>・機能別消防団員の採用。</li> <li>・交通安全協会と連携し、交通安全運動週間に町内7箇所で街頭指導による啓発活動を実施。</li> <li>・通学路安全対策として、関係機関と現場点検を行い、路面表示等を実施。</li> <li>・「こどもを守る安心の家」の周知、活用等について、各校での積極的活用に向けた啓発や安心の家との連携体制構築を促進。</li> <li>・長野地域連携中枢都市圏連携協約に基づき、長野市消費生活センター等の専門相談員による消費生活や法律・税務等の相談機会の確保。</li> <li>・防犯灯の点検は区長組長の報告を受け、老朽化が目立つものについて随時更新を実施。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団員の負担軽減等のためR6からポンプ操法大会及びラップ吹奏大会への参加を取りやめた。自然災害が多発する中で、消防団に求められる活動内容の幅も広がっていることから、団員定数の維持に努めていく。</li> <li>・常備消防・救急体制の充実に向けて、引き続き長野市消防局と連携を強化していく。</li> <li>・機能別消防団員については、今後も多くの機能別消防団員の採用に向け周知を図っていく。</li> <li>・シートベルト着用調査結果では、着用率が100%に至らなかったため、啓発活動を継続的に展開していく。</li> <li>・過去に整備した安全施設等の老朽化が進んでおり、機能低下・路面標示欠損などが増えている。新たな危険箇所が減少していることから、既整備済安全施設の計画的な修繕・更新が必要。</li> <li>・昼間は勤めのため町内は留守宅が増えており、子どもたちを見守る目が減少している。「こどもを守る安心の家」の協力者を増やしていく。</li> <li>・消費者トラブルについて、広域連携により事業を継続するとともに、多様化・複雑化する消費者トラブルに対応するための相談窓口機能を充実させていく。</li> <li>・防犯灯については支柱が劣化してきているものが多いため、総合的な点検を進めていく。</li> </ul>							

第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】

分野4	安全・基盤			
基本方針	人口減少や自然災害、生活環境の多様なリスクに対応した安全な暮らしの実現			
政策3	将来にわたり持続可能な行政運営			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	総務課総務係・財政係・危機管理室・ふるさと納税推進室/企画課企画係・地域振興係・DX推進室/税務会計課収納係/住民環境課住民係			
課題と方針	<p>人口減少・少子高齢化の進展により、今後より一層の厳しい行財政運営が余儀なくされることから、更なる効率化と透明性の向上を図ります。また、税金による財源確保のため課税物件の的確な把握及び収納率の維持・向上を図るとともに、多様な収納方法を検討して、納税者の利便性の向上を図ります。</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「新たな生活様式」への行政サービスの対応</li> <li>・返礼品の充実によるふるさと納税額の増加</li> <li>・行政需要に対するデジタル化への対応</li> </ul>			
行動目標	自分たちのお金が適切に使われているかチェックしよう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	町の職員数（病院関係除く）<施策1、2、3>	136人	130人	
	職員提案制度による業務改善数<施策1>	0件	3件	
	出前講座の実施回数<施策1>	29回	100回	
	経常収支比率<施策2>	84.6%	80%以下	
	町税の収納率（固定資産税・住民税・法人税・軽自動車税）<施策2>	99.1%	99.0%	
	マイナンバーカード交付率（累計）<施策3>	17.5%	100%	
	住民 評価	信頼される行政運営満足度<施策1>	25.4%	↑
		持続可能な財政運営満足度<施策2>	21.8%	↑
		質の高い行政サービスの提供満足度<施策3>	24.5%	↑
税金の使われ方に対して関心を持っている		62.5%	↑	
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
<b>B</b>	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若手職員による政策研究グループの提案事業3件中2件の着手。</li> <li>・ふるさと納税ポータルサイト「楽天」では、昨年度に引き続き、全国一りんごを売り上げた自治体となった。</li> <li>・電子申請ツール「LoGoフォーム」でマイナンバーカードを活用して本人確認を行う「xID」を運用。</li> </ul>			


<p>A 順調 (目標以上に進捗)</p> <p>B 概ね順調 (目標の7~8割の進捗)</p>	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの政策提案や意見聴取等の場（中学生議会等）が制度的に整備されていない。</li> <li>・ふるさと納税について、農業者の減少や気候変動の影響により、りんごの生産量が減少する傾向が見られ、りんご調達には限界が予想される。</li> <li>・電子申請ツール「LoGoフォーム」での「xID」を利用した申請フォームが少ないため、マイナンバーカードの利便性向上に向け、「xID」利用の申請フォームを増やすための検討が必要。</li> </ul>
<p>C やや遅れている (目標の5~7割の進捗)</p> <p>D 遅れている (目標の5割以下の進捗)</p>	<p>&lt;方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生議会等の場の設置は学校カリキュラムとの兼ね合い等もあるため、制度として位置づけていくには体制づくりが必要である。R4に設置した若者会議の運用・運営に当たり、高校生以下の子どもたち等を含めた意見聴取の場や政策提案機会を設けていくことも視野に検討していく。</li> <li>・ふるさと納税について、新たな地場産品を活用した返礼品の開発などを視野に入れ、対応策を講じる。</li> <li>・マイナンバーカード活用促進として、「xID」を利用した郵送通知のデジタル化ツール「SmartPOST」を導入する。</li> </ul>

施策1	信頼される行政運営の推進						達成度評価	担当係等
①	町民の知る権利を保障するとともに、公正で開かれた透明性の高い町政を推進するため、町の情報を積極的に公開します。						A	危機管理室
②	事務事業の改善に関する職員提案制度を奨励し、事務の効率化を図ります。						B	企画係
③	価値観の多様化、行政課題の複雑化等の課題解決に向け、周辺市町村と積極的に連携を進めます。						C	企画係
④	子どもたちがまちづくりに対して意見を言える場を整え、若い世代の意見を町の施策に積極的に反映させます。						D	企画係/地域振興係
⑤	対面に加えオンラインでの職員研修を積極的に行うなど、職員の資質向上を図ります。						B	総務係
⑥	行政職員が積極的に地域に出向き、町の取組を説明するなど、町民との情報交換・情報共有の場づくりに努めます。						B	企画係
K P I ①	町の職員数（病院関係除く）（人）						総務係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	136	—	—	—	—	130	83%	
実績		137	140	156				
K P I ②	職員提案制度による業務改善数（職員政策Gによる提案実現延数）（件）						企画係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	0	—	—	—	—	3	133%	
実績		0	2	2				
K P I ③	出前講座の実施回数（回）						企画係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	29	—	—	—	—	100	69%	
実績		55	72	69				
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報公開条例に基づく情報公開の運用。</li> <li>・若手職員から町の活性化やまちづくりに関する提案まで広く政策提案を求める内容として提案事業を実施（3件の政策提案）。</li> <li>・長野地域連携中枢都市圏形成に係る連携協約に基づく圏域で取り組む58事業のうち55事業に参画。</li> <li>・職員研修を積極的に実施し、資質向上を促進（個別研修：市町村職員研修センター等、専門研修：日本経営者協会等、独自研修：町主催）。</li> <li>・出前講座の実施。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民の知る権利として情報の公開を求める権利を保障・尊重した制度運用に努めていく。</li> <li>・若手職員による政策研究グループを設置して、継続的且つ専門的に政策提案を実施する場を作ったことで、職員提案制度の実効性が高まった。若手職員による政策提案の取組は、人材育成や職員のスキルアップの観点からも推進・強化していく。</li> <li>・連携中枢都市圏をはじめ、周辺市町村による事業連携等に一定の進捗がある一方で、現状は実効性のある連携が少ない。関係する市町村で課題を共有し、共同で事業に取り組む体制を強化していく。</li> <li>・多様化する住民ニーズに対応していくため、組織及び職員個々の資質の向上が必須なことから、民間感覚や時代に順応したスキルを身に付けていくための研修機会を増やしていく。</li> <li>・出前講座に限らず、町民と行政職員が情報交換、意見交換等をする機会を意識的に設定するなど、町民と行政が気軽に話し合いや交流できる場づくりを促進していく。</li> </ul>							

施策2	持続可能な財政運営の推進						達成度評価	担当係等
①	町税や使用料など、賦課・利用者負担の適正化と収納率の維持・向上に努めます。						A	収納係
②	コンビニエンスストアなどの身近な場所での納付や、インターネット、クレジットカード等の簡易な方法による納付に関する調査研究等を進め、納税者が納付しやすい環境を整えます。						B	収納係/DX推進室
③	ペーパーレス化や押印の廃止、手続のオンライン化など事務処理のデジタル化や簡素化を進め、行政の事務処理の効率化と経費の削減に努めます。						B	総務係/DX推進室
④	ふるさと納税の促進やホームページ等への広告掲載など、財源確保のための創意工夫を行います。						A	ふるさと納税推進室/企画係
⑤	「最少の経費で最大の効果」が得られるよう、質、量とも最適な行政サービスの運営を実施するため、行政が自主的かつ積極的に各種事業の評価、見直しを行い、その結果を公表します。						B	企画係
⑥	施設の重要度や劣化状況に応じて長期的な視点で優先順位をつけ、町民の安全・安心に直結する施設については着実に更新・修繕を行う一方、十分な利用が見込まれない公共施設については統廃合を進めるなど、計画的に施設を整備します。						A	財政係
KPI①	経常収支比率 (%)						財政係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	84.6	—	—	—	—	80%以下	95%	
実績		89.7	84.3	84.3				
KPI②	町税の収納率 (固定資産税・住民税・法人税・軽自動車税) (%)						収納係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	99.1	—	—	—	—	99.0	100%	
実績		99.1	99.6	99.2				
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町税収納率は99.2%で、前年比0.4%減少。</li> <li>・キャッシュレス決済用の専用通信端末によるペイジー口座振替受付サービスの導入を計画し、新しい地方経済・生活環境創生交付金の交付申請を行った。</li> <li>・電子決裁システムや書かない窓口、Logoフォームによる手続き等のオンライン化、ペーパーレス会議システムの運用など。</li> <li>・ふるさと納税実績 (R6年: 寄付件数/77,122件、寄付額/1,029,234,897円)。</li> <li>・行政評価の実施。</li> <li>・公共施設等総合管理計画及び個別施設計画の趣旨や理解度を深めるとともに、今後の公共施設のあり方について共有するため、係長以上を対象に研修会を実施。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収納率の向上については、過去の滞納額が多額で完納に長期間を要す事案について、滞納整理機構等と連携を図りながら処理を進める。</li> <li>・ペイジー口座振替受付サービスを令和7年度に導入予定。</li> <li>・役場の業務の効率化及び生産性の向上を目指し、職員のBPR (業務改革) のためのツール「Govmates Pit (ガバメイツピット)」の運用を図る。</li> <li>・ふるさと納税制度を活用し、地場産業の活性化、町の魅力の発信、財源の確保に努める。</li> <li>・行政評価制度実施要綱に基づき、行政評価を実施しているが、事務事業評価については、毎年度その手法や対象等が変わり、実効的な事業評価・事業見直しがなされているとは言い難い。</li> <li>・公共施設等総合管理計画に基づき、施設の統合や複合化、機能廃止を検討していく。なお、除却に係る経費が膨大になることが想定されることから、新たな基金を創設するなど、コストの縮減と平準化を図る。</li> </ul>							

施策3	質の高い行政サービスの推進						達成度評価	担当係等
①	電子申請やマイナンバーカードを活用して、利便性の高い行政サービスの提供を図ります。						<b>B</b>	住民係/DX推進室
②	多様化する住民ニーズに迅速に対応する体制づくりを進め、住民サービスの向上に努めます。						<b>C</b>	総務係
③	SDGsに対する理解を深め、目標達成に貢献できる行政サービスを推進します。						<b>C</b>	企画係
K P I	マイナンバーカード交付率（累計）（％）						住民係/DX推進室	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	17.5	—	—	—	—	<b>100</b>	<b>86%</b>	
実績		61.3	77.5	85.5				
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民アプリ「いなび いいづな」を活用した、住民票等の各種証明書のオンライン請求サービスの運用。</li> <li>・課や係の枠にとらわれない分野横断的対応の体制づくりの推進。</li> <li>・SDGsに対する理解の醸成、SDGsを意識した施策や事業立案等に対する啓発の促進。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
<b>C</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民アプリ「いなび いいづな」の活用により、来庁不要で休日・夜間の申請が可能になり、また、自宅で証明書等を受け取ることができるようになったことで、住民の利便性の向上が図られた。今後は、コンビニ交付システムなど、さらに利用しやすい環境を検討する。</li> <li>・住民ニーズが複雑・多様化する中で、分野横断的な対応や、ワンストップで迅速に対応していくための体制を強化していく。</li> <li>・SDGsに対する理解を深めるための研修機会等を増やすなど、職員一人ひとりがSDGsの目標達成を踏まえた施策立案や事業実施を積極的に進めていく環境づくり、意識の醸成・向上を図っていく。</li> </ul>							


第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】

分野4	安全・基盤		
基本方針	人口減少や自然災害、生活環境の多様なリスクに対応した安全な暮らしの実現		
政策4	デジタル化の推進		
関連するSDGs			
主な担当課・担当係	企画課DX推進室		
課題と方針	<p>人口減少時代に対応する持続可能な地域を形成するために、デジタル技術を活用してより効率的で生産性を高める取組が必要であることから、デジタル化のノウハウを有する民間の活力を活用し、地域全体で産官民が連携してデジタル化の取組を積極的に推進します。</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル化による住民サービスの質的向上</li> <li>・全庁的なDX※の導入・推進</li> </ul>		
行動目標	デジタル技術を積極的に活用しよう！		
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)
	専用基地局、中継局の設置（累計）<施策1>	0か所	10か所
	デジタルデバイス機器導入数（累計）<施策1>	0基	100基
	電子申請手続き導入数<施策2>	9手続	27手続
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等		
<b>B</b> A 順調 (目標以上に進捗) B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗) C やや遅れている (目標の5～7割の進捗) D 遅れている (目標の5割以下の進捗)	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・LPWAを活用したデジタルデバイスを整備（追加）。</li> <li>・生成AIをトライアル導入。</li> </ul>		
	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・LPWAを活用したデジタルデバイスの効果検証。</li> <li>・生成AI活用による費用対効果の検証。</li> </ul> <p>&lt;方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・LPWAネットワーク網及び活用したデジタルデバイスの改善に取組む。</li> <li>・生成AIの活用方法を検討し、導入可能な具体的な事例の研究を進める。</li> </ul>		

施策1	地域のデジタル化により活力あるまちづくりの推進						達成度評価	担当係等
①	町全体のデジタル化を推進する飯綱町DX推進計画を策定します。						<b>B</b>	D X 推進室
②	町内で広くデジタル技術を活用するための専用基地局や中継局などのネットワーク整備を進めます。						<b>A</b>	D X 推進室
③	生産性、効率性、防災力等を高めるためのLPWAを活用したデジタルデバイスの導入を推進します。						<b>A</b>	D X 推進室
K P I ①	専用基地局、中継局の設置（累計）（か所）						D X 推進室	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	0	—	—	—	—	<b>10</b>	<b>400%</b>	
実績		27	40	40				
K P I ②	デジタルデバイス機器導入数（累計）（基）						D X 推進室	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	0	—	—	—	—	<b>100</b>	<b>81%</b>	
実績		36	73	81				
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ R4年10月に策定した飯綱町DX推進計画に基づき各事業を推進。</li> <li>・ デジタル技術を活用するためのLPWAネットワーク網の整備。</li> <li>・ LPWAを活用したデジタルデバイスの導入（新たに水位センサー1か所、人流カウンター5か所、不法投棄用監視カメラ1か所）。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ DX推進計画に対する進捗状況を確認し、次期計画策定の準備を進める。</li> <li>・ 町内のほぼ全域でLPWAネットワーク網の整備が完了しているが、場所によっては届きづらい場所があるため、センサーの活用状況を踏まえ、必要に応じて基地局や中継機の整備を検討する。</li> <li>・ LPWA網を活用した様々なセンサーを設置したが、効果検証が間に合っていないため、効果検証及び改善に取り組む。</li> </ul>							

施策2	行政のデジタル化による住民サービスの向上						達成度評価	担当係等
①	デジタル技術やデータ等を活用し、オンライン申請など町民の利便性の向上を図ります。						A	D X 推進室
②	デジタル技術やAI（人工知能）等の活用により業務の効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上につなげます。						C	D X 推進室
③	税金や手数料等の支払についてキャッシュレス化を推進します。						D	D X 推進室
K P I ①	電子申請手続き導入数（手続）						D X 推進室	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	9	—	—	—	—	27	493%	
実績		74	129	133				
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子申請ツール「LoGoフォーム」の運用（LoGoフォーム364手続）。</li> <li>・生成AIをトライアルで利用し、導入に向けた検証を実施。</li> <li>・地方税のキャッシュレス納付を進めるため、「地方税統一QRコード」の導入を検討。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子申請について、住民が更に利便性を感じられるよう積極的にPRを行うとともに、申請可能な手続きを増やしていくよう努める。</li> <li>・生成AI活用による費用対効果や活用方法を検証し、導入の具体的な検討を行う。</li> <li>・役場窓口で税金や手数料等をキャッシュレス納付できる体制・環境の整備に向けた検討を進める。</li> </ul>							

第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】

分野5	安心・健康・福祉			
基本方針	共に支え合い誰もが安心して暮らすことのできるまちづくり			
政策1	切れ目ない子育て・子育て支援			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	教育委員会子育て支援係・こども保育係／保健福祉課福祉係／企画課地域振興係			
課題と方針	<p>ハード・ソフトの両面から、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援により、安心して子育てができる環境をつくります。</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・核家族化や働き方の変化、ひとり親家庭などへの対応</li> <li>・飯綱町子育て世代支援施設の有効活用</li> </ul>			
行動目標	子どもたちの成長をみんなで支え、喜びを分かちあおう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	ファミリー・サポート・センターの会員数<施策1>	39人	50人	
	なかよし広場利用者数<施策1>	70人	90人	
	放課後児童クラブ利用者ニーズ調査（開館状況満足度）<施策1>	95.3%	96.0%	
	病後児保育施設利用者数<施策2>	1人	5人	
	女性就業率<施策3>	58.3% (H27)	65.0%	
	支援を受けた者で就労（起業）できた者の数（累計）<施策3>	10人	100人	
	飯綱町ワークセンター新規登録者数（累計）<施策3>	50人	100人	
	住民評価	子どもがいきいきと育つ環境づくり満足度<施策1>	33.2%	↑
		楽しく子どもを育てられる環境づくり満足度<施策2>	26.3%	↑
		女性の希望が叶う子育て環境づくり満足度<施策3>	22.0%	↑
		地域の子どもの成長に関心を持っている（子ども見守り、学校へのボランティア等）	54.6%	↑
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
B	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・りんごっ子保育園の定員数の見直し（60人→90人）。</li> <li>・病後児保育室を元気の館に移転し、環境改善が図られた。</li> <li>・各種イベントや講座の開催により、子育て世代のワークライフバランスの実現。</li> </ul>			
	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童クラブについて、利用者が増加傾向にあることから、指導員不足や施設面などの課題が発生。</li> <li>・子育てサービス利用者の増加と保育ニーズの多様化が見込まれる。</li> <li>・就労形態の多様化に伴い、希望するイベントや講座へ参加できない親子の増加。</li> </ul>			
A 順調 (目標以上に進捗)	<p>&lt;方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後児童健全育成事業や児童クラブの現状を踏まえた利用者向け説明会を定期的で開催する。</li> <li>・現状の多様な保育サービスを継続・拡充するために保育士等の人材確保を進める。</li> <li>・飯綱町の子ども・子育てに関するアンケート調査の結果等を参考に、イベント等の開催方法を検討する。</li> </ul>			
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)				
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)				
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)				


施策1	子どもがいきいきと育つ環境づくりの推進						達成度評価	担当係等
①	妊娠期から出産までの不安解消を図るため、妊娠や出産、産後の育児に関する教室を開催するとともに、その情報を広く周知し、多くの子育て世帯が利用できる体制づくりを推進します。						C	子育て支援係
②	レスパイト（息抜き）支援や出産に対する助成などを拡充し、出産における心理的・経済的負担の軽減を図ります。						A	子育て支援係
③	子育て世代支援施設の運営や事業については運営委員会で検討し、利用者のニーズに寄り添った運営を図ります。						A	子育て支援係
④	様々な事情により一時的に子どもを預けたい保護者を地域で支え合う仕組み（ファミリー・サポート・センター事業）の拡充を図ります。						A	子育て支援係
⑤	子どもが安全・快適に過ごせるよう施設の改修や増築、維持管理、ICT機器の導入など環境整備を計画的に行います。						A	こども保育係
⑥	放課後児童クラブでは、保護者との意見交換の場を設けるなど、保護者や児童のニーズに応える管理・運営に努めます。また、利用状況に応じた施設の確保や環境整備を計画的に行います。						A	こども保育係
⑦	次代を担う子どもの健やかな成長を願って、子どもの誕生や卒園・卒業等の機会に祝い金や記念品を支給します。						B	子育て支援係
⑧	児童虐待の未然防止と早期発見・早期対応に取り組むため、地域や関係機関との連携を強化します。						B	福祉係/子育て支援係
⑨	貧困により子どもがいきいきと育つ環境を奪われることのないよう、関係部署と連携して対応します。						B	福祉係
⑩	未来の町を担う子どもたちに、自らの可能性に気付く学びの場や、仕事のやりがい学ぶことのできるプログラムを提供し、人材育成を図ります。（※2-3-1-⑤再						B	地域振興係
⑪	ひとり親家庭に対する相談等の支援を強化します。						C	福祉係/子育て支援係
K P I ①	ファミリー・サポート・センターの会員数（人）						子育て支援係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	39	—	—	—	—	50	82%	
実績		37	34	41				
K P I ②	なかよし広場利用者数（人）						子育て支援係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	70	—	—	—	—	90	116%	
実績		70	80	104				
K P I ③	放課後児童クラブ利用者ニーズ調査（開館状況満足度）（%）						こども保育係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	95.3	—	—	—	—	96.0	101%	
実績		96.9	97.9	96.9				

<p>主な実施事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野県立大学との連携事業による「わくわく子育て講座」の開催。</li> <li>・子育て世帯訪問支援員派遣事業の実施。</li> <li>・飯綱町子育て世代支援施設運営委員会を開催し、利用者目線の利活用方向を検討。</li> <li>・ファミリー・サポート・センター事業の実施。</li> <li>・保育園諸設備改修工事の実施、保育園にタブレット端末の導入。</li> <li>・児童クラブ利用者アンケートの実施。</li> <li>・誕生祝金、誕生記念品、子育て応援祝金、卒業・卒園祝金の支給。</li> <li>・児童虐待防止対策として、虐待等地域対策協議会、要保護児童対策地域協議会等において関係機関との連携を密にするとともに、実務者会議を開催。</li> <li>・子どもの居場所づくりの促進として、子ども食堂「てんぐカフェ」を開催。</li> <li>・ひとり親家庭の抱える不安や心配事等に対して相談を実施。ケースに応じて、関連機関と連携し、具体的な支援や対応を推進。</li> </ul>
<p>達成度評価</p>	<p>達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等</p>
<p><b>B</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「わくわく子育て講座」は大学教授等から最新の子育てに関する講義を受けられる貴重な機会となっているため、多くの子育て世代の方が受講できるよう、周知を強化する。</li> <li>・レスパイト支援として子育て世帯訪問支援員派遣事業を引き続き実施する。</li> <li>・子育て世代支援施設について、引き続き利用者ニーズを把握し、施設の活性化を図る。</li> <li>・ファミリー・サポート・センター事業について、事業の周知を強化し、ニーズに合わせた内容に改善を図る。</li> <li>・保育園にタブレット端末を導入したことにより、保護者との連絡がスムーズに行えるようになった。ICT機器の導入及び活用により、保育事務の効率化を図る。</li> <li>・児童クラブについて、アンケート調査の内容を精査し、利用者ニーズに沿った運営を図る。</li> <li>・誕生記念品事業は、町内事業者の新規参画が増加している。継続・拡充を図る。</li> <li>・児童虐待等は、複雑化・長期化するケースが増えており、地域全体での防止に向けた具体的取組と支援体制づくりを進めていく必要がある。また、関係部署間における、情報共有や状況確認などを徹底することで、早期対応を図っていく。</li> <li>・貧困等による教育機会格差等を生まないように、学びや体験等の機会を適切に確保する仕組みづくりを進めていく必要がある。また、子どもの貧困対策計画について策定を進めていく。</li> <li>・ひとり親家庭に対して、支援内容の一覧を作成するなど、相談者がわかりやすく、安心して相談できるように工夫する。</li> </ul>

施策2	楽しく子どもを育てられる環境づくりの推進						達成度評価	担当係等
①	妊娠期における講座等の充実を図るとともに、子育て期の親子交流イベントの開催など、子育てしやすい体制を整備します。						<b>B</b>	子育て支援係
②	大学連携事業等の推進を図り、各種の講座等を開催し、学びながら楽しく子育てができる場の構築を図ります。						<b>B</b>	子育て支援係
③	病後児保育や未満児保育及び一時保育等の充実を図るとともに、病児保育について研究するなど、子育てと仕事が安心してできる体制・施設整備を図ります。						<b>C</b>	子育て支援係/ こども保育係
K P I ①	病後児保育施設利用者数（人）						子育て支援係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	1	—	—	—	—	<b>5</b>	<b>20%</b>	
実績		2	0	1				
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子交流イベントとして、子育て支援センターの特別開放、「ファミリーコンサート」や「あきまつり」等のイベントを実施。</li> <li>・連携協定を結ぶ長野県立大学との連携事業として「わくわく子育て講座」を開催。</li> <li>・保護者の就労形態の多様化に伴う保育ニーズに対応するため、未満児保育、時間外保育、一時保育、土曜保育、病後児保育等、様々な保育サービスの実施。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠期の講座等については、庁内横断的な連携を強化することで、妊娠期におけるニーズを把握し、必要な講座等の開設とそのための環境・体制を整えていく必要がある。</li> <li>・親子で参加できる交流イベントは好評なことから、楽しく子育てに取り組む環境づくりとして、子育て交流イベント等を拡充する。</li> <li>・長野県立大学との連携による講座や取組の拡充を図っていくとともに、他の大学・教育機関等との連携による子育ての多様な学びの場の確保を推進する。</li> <li>・病後児保育室を「元気の館」に移転し、より利用しやすい環境整備ができた。今後、病児保育にも取り組めるよう検討を進める。</li> </ul>							

施策3	女性の希望が叶う子育て環境づくりの推進						達成度評価	担当係等
①	父親の育児への参加を支援する研修や講座等を開催するなど、父親も子育ての楽しさが実感できる事業に取り組みます。						<b>C</b>	子育て支援係
②	多様な生き方を選択できる町を実現するため、事業所への啓発活動等により子育て世帯を中心に働き方の見直しを促進し、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現を図ります。						<b>D</b>	子育て支援係
③	就職に有利な資格や知識・能力を身に付けられる研修会の開催など、女性の職場復帰や再就職支援の充実に図ります。						<b>C</b>	子育て支援係
K P I ①	女性就業率（％）						子育て支援係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	58.3	—	—	—	—	<b>65.0</b>	<b>89%</b>	
実績		57.9	57.9	58				
K P I ②	支援を受けた者で就労（起業）できた者の数（累計）（人）						子育て支援係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	10	—	—	—	—	<b>100</b>	<b>13%</b>	
実績		11	12	13				
K P I ③	飯綱町ワークセンター新規登録者数（累計）（人）						子育て支援係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	50	—	—	—	—	<b>100</b>	<b>204%</b>	
実績		98	140	204				
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族で子育てを楽しむイベント交流「ファミリーコンサート」や「あきまつり」等を実施。</li> <li>・ワークライフバランスの実現に向けた各種講座の開催（ミシン講座、メイク講座、ミニマネー講座、入園グッズ制作セミナー）。</li> <li>・職場復帰等に向けた支援として、スキルアップセミナーの開催、企業とのマッチングイベントの開催、Jobサポの就業支援員との個別就業相談の実施など。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
<b>C</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの父親が参加できるイベントの開催方法を検討する。</li> <li>・子育て支援施設利用者の声を参考に、子育て中の女性が知りたい情報を提供する。また、利用者同士の交流の推進を図る。</li> <li>・スキルアップにつながるセミナー等を継続するとともに、県の女性就労支援センターとの連携も図る。</li> </ul>							

第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】


分野5	安心・健康・福祉			
基本方針	共に支え合い誰もが安心して暮らすことのできるまちづくり			
政策2	誰もが安心していきいきと暮らすことができる社会の実現			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	保健福祉課介護支援係・地域包括支援センター・福祉係/企画課企画係/教育委員会総務教育係・子ども保育係・子育て支援係			
課題と方針	<p>町民一人ひとりが自ら考え行動し、地域ぐるみで支え合う自助・互助・共助・公助※の確立を図る取組を推進します。</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少子高齢化に伴う福祉サービスの給付と負担のバランス確保</li> <li>・ 孤独死の防止やひとりで悩みや不安を抱え込ませない重層的な支援体制の構築</li> <li>・ 公的な福祉サービスの充実に加えた地域で支え合う体制づくり</li> </ul>			
行動目標	声をかけ、優しい地域の輪を広げよう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	IIZUNAであるきバスカード登録率<施策1>	16.1%	25.0%	
	65歳以上就業率<施策1>	47.2%	50.0%	
	いきいきサロン参加者数<施策3>	2,500人	7,000人	
	地区福祉学習会開催地区数・開催地区割合<施策3>	10地区・20%	50地区・100%	
	ふれあい広場参加者数<施策3>	0人	2,000人	
	地域福祉フォーラム参加者数<施策3>	100人	200人	
	住民評価	高齢者が安心していきいきと暮らすことのできる取組満足度<施策1>	26.8%	↑
		障がい者が自分らしく生活を送ることができ取組満足度<施策2>	20.8%	↑
		地域で支え合う福祉の体制づくり満足度<施策3>	20.8%	↑
周辺住民とは日頃から積極的にコミュニケーションをとっている		62.4%	↑	
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
B	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ iバスヘルパー事業の拡充によりIIZUNAであるきバスカードの利用者が増加傾向。</li> <li>・ 支援が必要な児童の支援会議等に社会福祉士が参画。</li> <li>・ 重層的支援体制整備事業が本格的にスタート。</li> </ul>			
	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害等緊急時の見守り体制等について、独居高齢者・高齢者のみ世帯・障害者等にとっては、「予めどのように避難し、誰が支援し、どんな配慮が必要か」等の具体的且つ適切なマニュアルが必要。</li> <li>・ 地域の事業（移動支援、福祉有償運送サービス、タイムケア等）や児童福祉サービスの利用希望者が増加しており、提供可能な量を超えている。</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、地域活動が縮小し、地域のつながりも薄れつつある。</li> </ul>			
A 順調 (目標以上に進捗)	<p>&lt;方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自力での避難行動が難しい方々を対象とした「個別避難計画」の策定を進めるとともに、緊急通報装置の設置やICTを活用した見守りシステムの導入など、設備面での見守り体制を強化する。</li> <li>・ 地域の事業について、サービス利用者全体の量の見直しやサービス提供事業者の確保に努める。</li> <li>・ 地域による支え合い活動の大切さ等について、様々な機会を捉えて啓発していく。また、人口減少が進む中で、地域福祉活動を支える組織・人材は益々重要な存在になっていることから、組織・人材の確保育成に向けた具体的な支援策を講じていく。</li> </ul>			
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)				
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)				
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)				

施策1	高齢者が安心していきいきと暮らすことができる社会の実現						達成度評価	担当係等
①	全ての高齢者が安心して自立的に暮らすことができる環境を整備するため、地域包括支援センターを拠点として、介護や医療等の関係機関との連携強化を図り、高齢者の生活全般に関するあらゆる相談に対応できる体制（地域包括ケアシステム）を構築します。						B	介護支援係・包括支援センター
②	健康運動や栄養改善、口腔機能向上等の教室開催などフレイル予防をはじめとする介護予防の取組を推進します。						B	介護支援係・包括支援センター
③	認知症の方やその家族が安心して暮らせるよう、認知症の方を地域全体で支え見守る体制（ささえ愛ネットワーク）を拡充するなど、認知症の方へのきめ細かな対応を図ります。						B	介護支援係・包括支援センター
④	独居高齢者のあんしんサポートを行う相談窓口や体制づくりを検討します。						C	介護支援係・包括支援センター
⑤	高齢化社会を迎え、買い物困難者問題が深刻化しています。地域の支え合いによる「きめ細かな」地域交通や移動販売車の運行等について研究し、買い物困難を感じない地域への転換を図ります。						C	介護支援係/企画係
⑥	高齢者に対するバスの乗り方教室を開催するなど、IIZUNAであるきバスカードの利用促進に努めます。						B	介護支援係・包括支援センター
⑦	高齢者の経験とスキルを活かした社会活動とマッチングする仕組みを構築します。						B	福祉係
⑧	独居高齢者向け緊急通報装置などの見守り体制を強化します。						B	介護支援係・包括支援センター
K P I ①	IIZUNAであるきバスカード登録率<施策1>						介護支援係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	16.1	—	—	—	—	25.0	84%	
実績		19.3	20.4	21.1				
K P I ②	65歳以上就業率<施策1>						福祉係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	47.2	—	—	—	—	50.0	98%	
実績		44.7	44.7	49.2				
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターを拠点とする「地域包括ケアシステム」による、生活全般に関する相談支援。</li> <li>・お元気クラブ、すてきなおやじクラブ、いきいきサロン等の実施。</li> <li>・「ささえ愛ネットワーク」による見守り体制の整備、認知症SOSネットワーク事業、認知症高齢者等個人賠償責任保険事業など。</li> <li>・「つながり隊」による、あいさつや声かけ、見守り活動、相談窓口へつなげる活動等の実施。高齢者を対象とした食事会、学習会、体力測定活動等の開催など。</li> <li>・いづなコネクトでの日用品等の販売、スマートグラスを活用した買い物支援など。</li> <li>・IIZUNAであるきバスカードの利用促進。</li> <li>・緊急通報装置の設置、災害時要援護者台帳の整備、災害時支え合いマップの作成。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症対策支援として、GPS装置などの新たなサービスの調査・研究を進めていくとともに、地域全体で支え見守る体制づくりを強化する。</li> <li>・独居高齢者のあんしんサポートを行う相談体制づくりについては、仕組みや取組の拡充等、総合的に検討を行う。</li> <li>・買い物困難について、民間事業者等と連携を図り、多様なサービス・支援策を検討するとともに、デマンドの利便性向上や地域の支え合い等による、新た交通移動手段の仕組みを構築するなど、多角的に施策展開を進めていく。</li> <li>・高齢者のバス利用を促進するためには、支援サービスや利便性の向上が不可欠であり、高齢者のニーズを的確に把握していく。</li> <li>・災害等緊急時の見守り体制等について、緊急通報装置の設置やICTを活用した見守りシステムの導入など、設備面での見守り体制も引き続き強化する。</li> </ul>							

施策2	障がい者が自分らしく生活を送ることができる社会の実現	達成度評価	担当係等
①	障がい者への理解を深めるため、学習会や交流会等の充実を図り、心のバリアフリーを促進します。	<b>B</b>	福祉係
②	地域で自立した生活を送ることができるよう、誰でも気軽に相談できる仕組みを充実させ、全ての人に必要な支援（就労、日常生活用具の給付、外出時の移動などの支援）が行き渡る体制づくりに努めます。	<b>B</b>	福祉係
③	発達障がいがある子やその家族の相談に応じる発達支援室を設置し、保健・福祉・教育が連携しながら、早い時期から継続的で専門的な支援を行います。	<b>C</b>	総務教育係／子ども保育係／子育て支援係／福祉係／健康推進係
K P I ①	対応するKPIは住民評価指標のため、次期総合計画策定時に検証・評価		
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいへの理解を深める学習会（あいサポート研修、福祉啓発研修）、地域福祉フォーラム等の開催。</li> <li>・相談支援事業所への相談事業の委託により、相談体制の整備と強化を促進。障がい児を対象とした療育から就労支援までを含めた相談と支援の実施。日常生活用具給付。地域活動支援センターによる自立支援等の実施。</li> <li>・就学前児童の教育相談（すこやか相談、はぐくみ相談、支援会議）の実施。</li> </ul>		
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等		
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的に実施している障がいへの理解を深める学習会・研修等を引き続き実施していくとともに、新たな学習の場や交流機会等の企画を検討する。</li> <li>・地域活動支援センターは、若者の利用者が少ない状況。支援の必要な若者が積極的にセンターを利用できるよう、環境整備や体制の充実を図っていく。</li> <li>・早期に発育状況を把握し、関係機関との連携・調整により、成長に合った教育につなげていく。</li> </ul>		

施策3	地域で支え合う福祉の体制づくりの推進						達成度評価	担当係等
①	地域での福祉活動を推進する組織の充実や人材の育成などを支援し、地域の支え合い活動を促進します。						C	福祉係
②	高齢者や障がい者等の権利擁護を図るため、児童福祉制度や障がい者福祉制度、成年後見制度などの各種福祉制度の周知を行います。						B	介護支援係/包括支援センター
③	重層的支援体制整備事業の実施に向けて、介護、障がい、子ども、ひきこもりなどの相談支援等に取り組むことで、本人が安心して社会参加できるよう支援します。						B	福祉係
K P I ①	いきいきサロン参加者数（人）						福祉係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	2,500	—	—	—	—	7,000	52%	
実績		2,318	3,471	3,611				
K P I ②	地区福祉学習会開催地区数・開催地区割合（％）						福祉係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	10・20%	—	—	—	—	50・100%	50%	
実績		9・18%	11・22%	25・50%				
K P I ③	ふれあい広場参加者数（人）						福祉係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	0	—	—	—	—	2,000	13%	
実績		350	450	250				
K P I ④	地域福祉フォーラム参加者数（人）						福祉係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	100	—	—	—	—	200	65%	
実績		95	113	130				
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい広場等の交流イベントや啓発活動、いきいきサロンや地区福祉学習会等を通じての福祉活動組織の充実と人材育成。</li> <li>・成年後見制度などの各種福祉制度について、相談内容に応じて制度を周知。</li> <li>・重層的支援体制整備事業が本格的にスタートし、庁内の連携体制づくりをはじめ、事業所、公的関係機関、病院等との連携体制強化を推進。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域による支え合い活動の大切さ等について、様々な機会を捉えて啓発していく。</li> <li>・社会福祉協議会が法人後見として成年後見等を受任し、権利擁護の適切な支援を行う体制を整備した。今後も権利擁護についての支援ニーズは増えていくことが見込まれることから、長野市成年後見センターとの連携・相談体制の強化を進めていくとともに、権利擁護の内容に応じた支援制度の周知徹底と町の支援体制づくりを進めていく。</li> <li>・重層的支援体制の実効性を高め、支援体制を確立していくために、引き続き関係機関との協働体制の強化を図っていく。相談体制のほか、参加支援や地域づくりを推進する。</li> </ul>							

第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】


分野5	安心・健康・福祉			
基本方針	共に支え合い誰もが安心して暮らすことのできるまちづくり			
政策3	安心して暮らせる健康づくりの推進			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	保健福祉課健康推進係・福祉係／飯綱病院			
課題と方針	<p>全ての町民が健康長寿で豊かな人生を送ることができる活力ある町を目指し、関係機関と連携した健康づくり活動の推進と適切な支援を行います。</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス等感染症対策</li> <li>・医療や介護にかかる負担の抑制</li> <li>・妊娠期から子育て期にわたる健康相談や関係機関と連携したきめ細かな支援</li> <li>・生活習慣病の予防</li> <li>・地域医療を支える飯綱病院の必要な医療スタッフの確保</li> </ul>			
行動目標	食事、運動、睡眠…できることから楽しく、健康づくりに取り組もう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	飯綱町総合健診受診者数<施策1>	324人	370人	
	特定健診受診率<施策1>	31.2%	55.0%	
	ゲートキーパー養成講座の受講者数<施策1>	71人	320人	
	フレイルチェックの実施数<施策1>	0人	300人	
	健康寿命<施策1>	男：80.2歳/女：84.0歳	0.5歳以上の延伸	
	医師の充足率<施策2>	75.0%	80.0%	
	住民評価	みんながいきいきできる健康づくり満足度<施策1>	36.9%	↑
		地域に愛される病院づくり満足度<施策2>	32.1%	↑
		食事、運動、睡眠など意識して健康づくりに取り組んでいる	73.7%	↑
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
A	<成果>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲートキーパー養成講座への参加促進などによる自殺予防の体制づくりの進捗。</li> <li>・泌尿器科常勤医師1名を採用。</li> <li>・県との間で感染症法に基づく「医療措置協定」を締結（第一種指定、第二種指定）。通常の病床においても感染対策を講じた上で入院患者を受け入れ、平時から新興感染症に備え、有事の際に迅速かつ的確に対応できる仕組みづくりに取り組んだ。</li> </ul>			
	<課題>			
A 順調 (目標以上に進捗)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心の病気の予防・早期治療を推進しているが、複雑化する社会環境にあって、心の病や心の健康に不安を抱える人は増加傾向。</li> </ul>			
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院の経営について、患者数の減少に加え、物価や人件費等の高騰、感染性廃棄物処理料を始めたとする委託料の増加などの影響で厳しい状況が続いている。</li> <li>・新型コロナウイルス等の感染対策。</li> </ul>			
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)	<方向性>			
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こころの病気に対して、相談体制の強化はもちろんのこと、アウトリーチ支援についても検討・強化する。</li> <li>・経営状況の改善に向け、経営強化プランに基づき、病床機能の適正化を図りつつ患者数を確保し、1人当たりの入院料の単価を見直すなどの取組を継続する。</li> <li>・感染症に対して、病棟内における感染拡大が発生しないよう努める。</li> </ul>			

施策1	健康の保持・増進の支援						達成度評価	担当係等
①	食習慣や運動習慣の改善に関する講座等を通じて、町民の健康づくりに対する意識の高揚を図ります。						B	健康推進係
②	がん・生活習慣病等の早期発見・早期治療のため、検診の必要性をわかりやすく説明するなど受診勧奨等を積極的に行い、受診率の向上に努めます。						B	健康推進係
③	特定健診、町民健診を受診された方に個別面談にて健診結果を伝え、生活習慣病の発症、重症化を予防します。						B	健康推進係
④	親と子が心身ともに健やかに過ごせるよう、子どもの健康等に関する母親の一人ひとりの悩みに親身に寄り添う相談体制を構築するなど、きめ細かな母子保健事業を進めます。						B	健康推進係
⑤	幼少期から健康的な生活習慣を身に付けるため、関係団体と連携し、食育を推進します。						B	健康推進係
⑥	健康器具を導入し、一人ひとりの健康状態に合わせて適切に利用するなど、高齢者などの健康増進に向けた地域・団体の主体的な取組を支援します。						A	福祉係
⑦	心の病気の予防・早期治療を図るため、相談できる時間を十分に確保するなど、心の健康に不安を感じている人やその家族がいつでも気軽に相談できる体制の構築を目指します。						B	健康推進係
⑧	ゲートキーパーを養成するなど、自殺予防のための体制づくりを図ります。						B	健康推進係
⑨	ライフステージに合った健康増進活動とコミュニティづくりで、フレイル予防の推進を図ります。						B	健康推進係
K P I ①	飯綱町総合健診受診者数（人）						健康推進係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	324	—	—	—	—	370	81%	
実績		342	301	298				
K P I ②	特定健診受診率（%）						健康推進係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	31.2	—	—	—	—	55.0	88%	
実績		46.0	42.6	48.6				
K P I ③	ゲートキーパー養成講座の受講者数（延人）						健康推進係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	71	—	—	—	—	320	89%	
実績		169	59	57				
K P I ④	フレイルチェックの実施数（人）						介護支援係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	0	—	—	—	—	300	8%	
実績		0	0	23				
K P I ⑤	健康寿命(平均自立期間)（歳）						健康推進係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	男：80.2歳 女：84.0歳	—	—	—	—	0.5歳以上延伸	男:100% 女:80%	
実績		男81.4/女84.9	男80.7/女84.4	男80.7/女84.4				

<p>主な実施事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区健康教室や民生委員会で食事や運動習慣に関する講座を実施し、意識の高揚を促進。</li> <li>・冊子「各種検診のご案内」を作成し各世帯へ配布。特定健診未受診者に対して、受診勧奨を実施し、受診率の向上を促進。</li> <li>・特定健診の集団健診受診者に対しては、「結果報告会」で個別に面談し、結果説明・保健指導を行うとともに、健診後の要精密検査対象には、電話や通知などでも受診勧奨を実施。</li> <li>・子どもの健康相談（月2回）、心理相談（2か月に1回）など、定期的に相談の場を設け、悩みに寄り添った対応を実施。</li> <li>・離乳食講習会、乳幼児健診・教室での栄養相談、定期健康相談による栄養相談、「食のサポートの会」によるいづなっ子くらぶ「料理クラブ」での料理指導など。</li> <li>・町内6カ所（いづなコネクトWEST・EAST、メーラプラザ、福井団地コミュニティセンター、ふれあいの園、牟礼デイサービス）に設置されている「パワーリハビリ」の活用による健康増進の推進。</li> <li>・心の健康相談会の実施、メンタルヘルスチェック「こころの体温計」の運用など。</li> <li>・ゲートキーパー養成講座の開催。</li> <li>・通いの場での食事やフレイル予防についての健康講話の実施、地区健康教室の開催、保健師等による健康講話の実施など。</li> </ul>
<p>達成度評価</p>	<p>達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等</p>
<p><b>B</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の健康課題の分析を行い、より充実した内容かつ住民のニーズに沿った健康教育や講座を実施する。</li> <li>・がん検診について、飯綱病院と連携し、受診しやすい体制を整える。</li> <li>・生活習慣の振り返りにつながるよう、保健指導の充実を図る。</li> <li>・子育て支援センターで実施している健康相談の利用者が増加傾向にあることから、健診や教室以外での相談の場を設けていくことで、保護者の不安解消等につなげる。</li> <li>・乳幼児期だけでなく、妊娠期からの食育が大切なことから、「おっぱい教室」の中でも食の講話を実施しているが、現状は参加者が少ない。出産後の母子及び家族の健康のため、多様な機会を捉えて、食育事業を推進していく。</li> <li>・パワーリハビリの指導者の確保に向け、育成に力を入れる。</li> <li>・こころの病気に対して、重層的支援体制整備により、庁内の横のつながり・連携が強化された。潜在的要支援者など、多くの方が相談会・相談窓口等を利用しやすい環境整備を図るとともに、個別相談支援の強化を進めていく。</li> <li>・自殺予防対策については多角的な体制づくりが不可欠。普及啓発や重層的支援体制整備事業により予防対策の強化を図るとともに、推進協議会やワーキングチーム会議等の開催など支援体制を構築していく。</li> <li>・フレイル予防等について、様々な健康教室の場で講話を実施し、地域の集まりやコミュニティに参加することもフレイル予防の一つであることを伝えている。今後も積極的な社会参加を促す取組を強化する。</li> </ul>

施策2	飯綱病院の医療体制の充実						達成度評価	担当係等
①	現在の診療科目16科を維持し、一次救急から二次救急による医療の提供及び救急告示病院として、24時間365日、町民の健康と命を守るため安心と信頼の医療を提供します。						A	飯綱病院
②	医療スタッフの充実を図るとともに、計画的な設備の更新を行うなど、病院事業の経営の安定化・健全化に努めます。						A	飯綱病院
③	市中病院では対応しにくい慢性期医療や療養病床での医療の実施、一方では急性期医療及び透析医療を実施し、安定的に継続して良質な医療を提供します。						A	飯綱病院
④	町の「保健・医療・福祉」の連携の拠点として、町民の疾病予防、健診、医療相談、認知症予防、子育て世代支援施設への協力等の活動を行います。						A	飯綱病院
⑤	災害等が発生した場合は、地域の災害医療拠点病院として被災者への医療を担います。						A	飯綱病院
K P I ①	医師の充足率 (%)						飯綱病院	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	75.0	—	—	—	—	80.0	185%	
実績		92.1	104.7	147.7				
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一次救急、二次救急においてはオンコール体制による全科対応を継続している。</li> <li>・泌尿器科常勤医師の採用、信大医学部からの医師派遣、人材派遣会社による医師のスポット契約。多用途透析用監視装置などの医療機器の計画的な整備。</li> <li>・回復期機能にあたる地域包括ケア病床の新設に向けて、急性期、回復期、慢性期、在宅（訪問診療）まで、患者のニーズに合わせて切れ目のない医療・介護サービスが提供できる体制を整備。</li> <li>・総合健診、特定健診、地域医療連携室相談、町内保育園・小中学校等における各種健診への医師派遣（学校医含む）等の実施。</li> <li>・災害発生時における様々なケースを想定した訓練等を定期的実施。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飯綱町立飯綱病院経営強化プランに基づき、地域の特性・実情に応じた地域包括ケアシステム構築へ向けた取組を進め、地域に信頼される医療提供体制の確保及び健全経営に向けた体制整備を進める。</li> <li>・医師の働き方改革に伴う時間外労働時間の上限規制に対応するため、当直可能な医師の確保・採用を進めるとともに、看護師等医療従事者の確保に努める。また、病院施設の老朽化が進んでいることから、劣化度調査をもとに策定した修繕計画に沿って計画的に改修・修繕を進める。</li> <li>・地域のニーズに沿った安定的・継続的な医療サービスを更に充実させていくため、医療スタッフの確保、受入体制の整備等を強化する。</li> <li>・町の「保健・医療・福祉」の連携拠点として、関係機関との連携を強化し、町民の健康と命を守る中核としての活動を推進する。</li> <li>・実践的な訓練を定期的実施し、職員意識の向上や災害時の医療体制を整え、有事への備えを進める。</li> </ul>							
施策3	新型コロナウイルス等感染症の予防と対策						達成度評価	担当係等
①	緊急的な感染症対策には、迅速かつ総力を挙げて対応し、町民の生命及び健康を守るため感染予防に努めます。						A	飯綱病院／健康推進係
K P I	対応するK P Iなし							
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・65歳以上を対象に新型コロナウイルスワクチンが定期接種化され、町内外医療機関で接種が受けられるように体制を整備。発熱外来の設置対応の他、病院でのワクチン個別接種を実施。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワクチン個別接種については、限られた院内スペースの中で、他の診察等への影響を最小限に実施することができている。引き続き、新型コロナウイルス等の感染対策には十分に留意し、特に病棟内において感染拡大しないよう努める。</li> </ul>							


第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】

分野5	安心・健康・福祉			
基本方針	共に支え合い誰もが安心して暮らすことのできるまちづくり			
政策4	拠点をつなぐ交通ネットワークの充実			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	企画課企画係			
課題と方針	<p>多様な公共交通機関の有機的な連携を図り、町民の日常生活を支える、効率的で持続可能な交通体系を構築します。</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物など町内の移動のしやすさの向上</li> <li>・バス路線維持のための事業費増大への対応（利用者の確保）</li> <li>・高齢化の進展に伴う交通弱者の増加への対応</li> </ul>			
行動目標	積極的に公共交通を利用し、生活の足をみんなで守ろう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	1日当たりのiバスの平均利用者数<施策1>	89人	210人	
	1日当たりの牟礼駅の平均乗降者数<施策2>	992人	1,450人	
	住民 評価	身近で親しまれる公共交通の仕組みづくり満足度<施策1>	26.0%	↑
		利用しやすい交通環境の構築の取組満足度<施策2>	34.6%	↑
		積極的に公共交通（鉄道やバス）を利用している	15.2%	↑
		牟礼駅前が整備され、利便性が向上している	44.1%	↑
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
<b>C</b>	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間のタクシー不足を解消するため、補助制度を創設し、夜間タクシーの実証運行を開始。</li> <li>・高校生等からの意見を踏まえ、利用者へのサービス向上の一環で、牟礼駅にWi-Fiを設置。</li> </ul>			
A 順調 (目標以上に進捗)	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通（鉄道、バス）利用者の減少。</li> <li>・牟礼駅のバリアフリー化（車両とホームの段差解消・上りホームへの階段対策）について、しなの鉄道の厳しい経営事情等から見通しは立たない状況。</li> </ul>			
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)	<p>&lt;方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通の維持と利用者増に向けて、効率的で利便性の高い運行体制を構築する。</li> <li>・利用しやすい牟礼駅を目指し、しなの鉄道に対してバリアフリー化の早期改善要望を要請していくとともに、町の支援策（財政支援等）も検討していく。</li> </ul>			
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)				
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)				

施策1	身近で親しまれる公共交通の構築						達成度評価	担当係等
①	北しなの線の設備等の整備を支援するとともに、関係機関と連携し、イベント列車を運行するなど、鉄道の利便性の向上と利用の促進を図ります。						C	企画係
②	路線バスやデマンドバスと鉄道の連携を強化するなど、公共交通の効率的な運行体制の構築を図ります。						C	企画係
③	住民生活に欠かせない交通手段を確保するため、拠点施設と地域を結ぶバスなどの移動手段の整備と利便性の向上に努めます。						C	企画係
④	地域や交通事業者、関係機関などと連携し、地域公共交通網の維持・確保のための検討や取組を進めます。						B	企画係
⑤	公共交通機関の重要性・必要性の理解・周知を促します。						C	企画係
K P I	1日当たりのiバスの平均利用者数						企画係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	89	—	—	—	—	210	46%	
実績		95	94	96				
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車両更新他、しなの鉄道施設整備に対する補助金交付支援。イベント列車「SR1で軽井沢へ行こう！」の運行。</li> <li>・交通に関する各種協議会や関係機関等との協議や連携を図っており、効率的で利便性の高い運行体制に向けた検討。</li> <li>・iバス（定時定路線・デマンドワゴン・iバスコネクト）の運行。</li> <li>・飯綱町地域公共交通会議、飯綱町しなの鉄道活性化協議会、北しなの線運営協議会、牟礼駅マイレール応援団等による利用促進と維持確保に向けた検討及び活動の実施。</li> <li>・利用促進の機運を高めるため、関係機関や協議会等を中心とした各種活動や取組の実施により、公共交通機関の重要性や必要性を啓発。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント列車、駅前イベントの実施等は、鉄道利用のきっかけにもなっている。更に利用促進効果が得られるよう、新たな取組等についても検討する。</li> <li>・バスと鉄道の時刻表の改定期が異り、接続が悪いケースも見られることから、事業者間の連携強化等を推進する。</li> <li>・iバス運行体制を抜本的に見直し、日中デマンドの「フルデマンド化」を実施し、利用者に好評。今後も効率的で利便性の高い運行体制を構築する。</li> <li>・公共交通の維持と利用者増に向けた方策を多角的に検討し、多様な取組を進める。</li> <li>・関係団体等を中心に利用促進の活動や取組を進めているが、公共交通の重要性を町民に広く周知し理解を深めてもらう観点から、町民を対象とした定期的な啓発シンポジウム等の開催や広報紙等を通じた情報発信、町民参加型の利用促進活動等の展開等について、検討していく。</li> </ul>							

施策2	利用しやすい交通環境の構築						達成度評価	担当係等
①	牟礼駅のバリアフリー化を促進し、利用しやすい駅を目指します。						<b>D</b>	企画係
②	交通事業者等と連携し、日常生活用品の買い物など、交通弱者の不便を解消する仕組みづくりを推進します。						<b>C</b>	企画係
K P I	1日当たりの牟礼駅の平均乗降者数						企画係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	992	—	—	—	—	<b>1,450</b>	<b>75%</b>	
実績		1,011	947	1,081				
主な実施事業	・ 運転免許証自主返納者に対する公共交通利用による移動支援の実施。iバスヘルパー事業の実施。							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
<b>C</b>	・ 交通弱者の不便解消に向け、移動販売車やスマートグラスを活用した買い物支援等の取組を継続するとともに、ライドシェア等の新たな仕組みづくりについて検討・研究を進める。							


第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】

分野6	移住・交流		
基本方針	移住定住と多様な交流による地域活性化		
政策1	移住・定住の推進		
関連するSDGs			
主な担当課・担当係	企画課人口増推進室／建設水道課維持管理係		
課題と方針	<p>二地域居住やワーケーションなど多様な暮らし方・働き方を受け入れて、関係人口や交流人口を増やしながら、移住・定住につなげます。</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住に伴う経済的負担や様々なリスクを軽減できる仕組みづくり</li> <li>・空き家等の有効活用も含め、移住希望者のニーズに応じた住居の供給・確保</li> <li>・良好な自然環境や歴史・文化、風土を支える基盤となる集落の維持・継承</li> <li>・新たなライフスタイルやワークスタイルを受け入れられる仕組みや体制づくり</li> </ul>		
行動目標	移住者や来訪者との交流を深め、地域と関わる場や機会をつくろう！		
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)
	社会増減数<施策1>	▲69人	±0人
	転入者数<施策1>	221人	310人
	空き家バンク登録物件成約数(累計)<施策1>	6件	50件
	町営住宅等整備数<施策2>	65戸	73戸
	ワーケーション等のイベント実施回数<施策3>	3回	3回以上
	住民評価	住み良いまちと感じる人の割合	66.6%
	移住を増やす取組満足度<施策1>	18.1%	30.0%
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等		
B	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住希望者に対して様々な支援を展開し、移住者増に一定の成果。</li> <li>・R4年度から3か年計画で普光寺焚荒地区に4棟（8世帯）若者住宅を整備。R6年度は3年目の最終年で、A棟（2戸）・B棟（2戸）が完成し、全戸入居済。</li> <li>・ワーケーションについて、事業モデルの構築や実証実験を実施し、飯綱町でのアグリスポーツワーケーションの可能性の高さを認識。</li> </ul>		
	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住希望者の多様なニーズに対応していくための体制構築。</li> <li>・移住希望者のニーズに合った住宅が不足している。</li> <li>・ワーケーション事業の継続のための地域内の移手段や宿泊先の確保。</li> </ul>		
A 順調 (目標以上に進捗)			
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)			
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)			
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)	<p>&lt;方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住相談だけでなく、移住後の伴奏支援を含めた総合的なサポート体制の仕組みを構築する。</li> <li>・若者住宅等について、需要に合わせ、計画的に整備を進める。また、住宅整備に関しては、行政主導だけでなく、民間との連携による賃貸住宅整備（民間への補助等）や空き家活用による住宅整備など、多様な形態での住居整備を推進する。</li> <li>・モデル事業を企業の福利厚生や研修として利用してもらえるように内容を改良し、企業誘致を進める。</li> </ul>		

施策1	試住・移住・定住の支援						達成度評価	担当係等
①	移住専門員を配置するなど、総合的な移住サポート体制を構築します。						<b>A</b>	人口増推進室
②	移住希望者の経済的負担を軽減するため、ニーズに沿った支援制度を整備します。						<b>B</b>	人口増推進室
③	移住希望者の経済的負担を軽減するため、ニーズに沿った支援制度を整備します。						<b>B</b>	人口増推進室
④	移住体験ツアーの実施や移住体験用住宅の整備により、町の魅力を知ってもらうための試住を推進します。						<b>B</b>	人口増推進室
K P I ①	社会増減数（人）						人口増推進室	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	▲69	—	—	—	—	± 0	<b>126%</b>	
実績	▲41	▲33	18					
K P I ②	転入者数（人）						人口増推進室	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	221	—	—	—	—	<b>310</b>	<b>85%</b>	
実績	244	252	262					
K P I ③	空き家バンク登録物件成約数（累計）（件）						人口増推進室	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	6	—	—	—	—	<b>50</b>	<b>72%</b>	
実績	13	22	36					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住サポーター制度により、移住希望者の相談対応や移住者交流会への参加など、移住支援体制を強化。</li> <li>・民間賃貸住宅等建設補助金、移住定住促進中古住宅等購入補助金、移住定住応援リフォーム補助金、飯綱町移住定住応援家賃助成金、ひとり親世帯家賃助成金、飯綱町空き家家財道具等処分支援補助事業等、各種の助成制度の実施。</li> <li>・移住定住支援サイトを活用した移住者への住まいと仕事のマッチングとして、8社の企業インタビュー記事をサイトに掲載し、情報提供を促進。</li> <li>・「子育て世帯」「結婚希望者」にターゲットを絞った移住体験ツアーの実施。移住体験用住宅の運営。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住の先輩である移住サポーターによる、リアルな移住経験談や移住後の生活実態等を移住相談者に伝える機会を増やしていく。</li> <li>・移住者への奨学金返還支援、住宅建設・購入等の借入資金等に対する支援等の研究など、ニーズや情勢等を踏まえ、多様な支援制度を検討・整備していく。</li> <li>・空き家の掘起こし・流動化に向け、所有者にアプローチを行い、物件化を推進をしていくとともに、固定資産納税通知書に空き家情報募集チラシを同封する等の周知を継続的に実施する。</li> <li>・移住体験ツアー内容を工夫し、特色のあるツアーとして継続的に実施する。</li> </ul>							

施策2	町営住宅等の整備						達成度評価	担当係等
①	賃貸住宅不足を解消するため、若者住宅（定住促進住宅）を計画的に整備し、移住者・定住者の増加を図ります。						A	維持管理係
②	不足する賃貸住宅の供給を促進するため、民間力を活用した賃貸住宅の建設を支援します。						A	人口増推進室
K P I	町営住宅等整備数（戸）						維持管理係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	65	—	—	—	—	73	100%	
実績		67	69	73				
主な実施事業	・普光寺焚荒地区に2棟（4世帯）の若者住宅を整備。							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者住宅（定住促進住宅）について、需要に合わせて計画的に整備を進めていく。</li> <li>・民間賃貸住宅建設支援制度により、住宅供給不足に対して一定の成果が得られている。今後も同補助金の活用を促進するとともに、空き家活用等による住宅整備支援等の施策についても検討し、民間力の更なる活用支援を図っていく。</li> </ul>							
施策3	関係人口の創出・拡大						達成度評価	担当係等
①	二地域居住など多様な暮らし方・働き方を支援します。						C	人口増推進室
②	首都圏等からのワーケーションを積極的に受け入れ、関係人口や交流人口の創出と拡大を図ります。						B	人口増推進室
③	各集落で実施する関係人口創出事業を支援します。						C	地域振興係／ 人口増推進室
K P I	ワーケーション等のイベント実施回数（回）						人口増推進室	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	3	—	—	—	—	3回以上	100%	
実績		3	3	3				
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係人口の拡大に向け、ワーケーションの実証とモデル構築の取組を開始。ワーケーションイベントの実施。</li> <li>・集落創生事業等を通じた、各集落の取組に対する支援の実施。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会情勢を踏まえる中で、ワーケーションによる二地域居住の取組を推進する。継続的に事業実施できるような事業モデルの構築を進めたが、移動手段、宿泊場所の確保等に課題もあることから、受入体制の整備を具体的に進める。</li> <li>・各集落に対して集落創生事業等を活用した関係人口創出の取組を促していくとともに、関係人口創出の様々な事業について、各集落と協働で試験的に取り組んでいく体制づくりを進める。</li> </ul>							


第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】

分野6	移住・交流			
基本方針	移住定住と多様な交流による地域活性化			
政策2	都市との交流・国際交流の推進			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	企画課人口増推進室・地域振興係/産業観光課商工観光係・農政係/教育委員会総務教育係			
課題と方針	<p>農業や農村体験等による都市住民の滞在型交流を通じて、飯綱町ファンを増やすとともに、インバウンド（訪日外国人旅行者）の受入れや国際交流を拡充して、多文化共生のまちづくりを推進します。</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市住民との恒常的な関係構築</li> <li>・首都圏における町の認知度の向上・魅力の発信</li> <li>・海外からの来訪者が快適に過ごせる環境づくり</li> <li>・観光情報や交通案内などの多言語対応</li> </ul>			
行動目標	都市とのつながりを大切に、町を超えた交流の輪を広げよう！ To the world from IIZUNA！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	農業体験等参加者数<施策1>	1,067人	2,500人	
	友好都市提携数<施策1、3>	0都市	1都市	
	町民団体が主催する国際交流推進事業数<施策3>	2事業	3事業	
	国際交流事業推進団体数<施策3>	1団体	2団体	
	住民評価	飯綱ファンを増やす取組満足度<施策1>	22.0%	↑
		世界で活躍する人材の育成満足度<施策2>	10.9%	↑
世界の人々を積極的に受け入れる満足度<施策3>		9.2%	↑	
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
C	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レストラン等の多数の店舗事業を手掛ける「あずき珈琲」と連携し、同社の多数店舗で継続的に農産物の活用・販売を実施することで、関西圏のアンテナショップ機能としての強化、交流拡大につながった。</li> <li>・飯綱町スイス交流協議会が飯綱町国際交流協議会に改まり、スイスに限らず国際交流全般を対象した国際交流プロジェクトの推進体制が整備された。</li> </ul>			
	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町への来訪者は基準値よりも増加傾向にあるが、目標数値を大きく下回っている。</li> <li>・スイスとの交流事業については、現時点では行政レベル（友好都市提携等）での交流にまでは至っていない。</li> </ul>			
A 順調 (目標以上に進捗)	<p>&lt;方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏においては今後も地方との交流ニーズ等が高いと考えられるため、町資源の再発掘とフル活用により、首都圏ニーズに応えていく受入体制を整えていくとともに、首都圏に対し健康経営などのための企業研修やスポーツ合宿等の誘致営業を積極的に仕掛けていく。</li> <li>・国際交流事業について、当面は民間を中心とした交流活動として推進を図る。スイスとの交流については、情報提供や町民理解を促すイベント等の開催を支援する。</li> </ul>			
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)				
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)				
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)				

施策1	都市間交流の推進						達成度評価	担当係等
①	修学旅行や体験学習、企業研修、体験ツアー、ロケ地利用を積極的に受け入れるなど、町の魅力の認知度を高め、来訪者を増やすきっかけとなる取組を実施します。						<b>B</b>	地域振興係/人口増推進室/ 農政係/商工観光係
②	町を応援してくれる方に対し、定期的な観光・物産情報等の発信や多様な交流機会を創出するなど、恒常的な関係づくりに向けた取組を進めます。						<b>C</b>	商工観光係
③	首都圏において、町の農産物販売やライフスタイル提案等を担うアンテナショップ的機能を官民連携により構築するなど、都市交流の積極的な促進を図ります。						<b>B</b>	農政係
K P I ①	農業体験等参加者数（人）						農政係/商工観光係/地域振興係/人口増推進室	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	1,067	—	—	—	—	<b>2,500</b>	<b>49%</b>	
実績		1,073	1,187	1,225				
K P I ②	友好都市提携数（都市）						人口増推進室	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	0	—	—	—	—	<b>1</b>	<b>0%</b>	
実績		0	0	0				
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いづなコネクトWESTの宿泊施設を活用した合宿・企業研修の受入の実施。移住体験ツアーの実施、ワーケーションの実証実験。農業体験を主とした各プログラムの実施（りんご学校、ワーキングホリデー、農家民泊等）。農村体験・りんごオーナー制度等の実施。</li> <li>・ 飯綱町ファン倶楽部事業（町の観光・農産物・イベント情報等を年に数回、会員に送付）、飯綱町観光サポーター事業（登録者にサポーター用名刺、パンフレット、イベント情報等を送付しPRしてもらう）の実施。</li> <li>・ 首都圏や北陸地方の百貨店等で農産物の販売や町の魅力発信等の取組を実施。関西圏では「あずさ珈琲」と連携し、農産物の活用・販売を実施。また、若手農家等の協力を得て、茨城県古河市・静岡県焼津市のスーパーと連携して町産りんごの販売を実施。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ りんごオーナー制度は、リピート率が高く好評だが、現状は受入農家数・本数共に限度に達しており、新規申込受付等、受入を制限しなければならない状況にあり、機会損失となっている。来訪者を増やしていくためには、受入農家・本数の増加を図るとともに、受入に当たって新たな取組等も検討する。</li> <li>・ 飯綱町ファン倶楽部の会員数が伸び悩んでいる。会員活動の魅力の低下・インセンティブの不足等、様々な要因が考えられる。町を応援する方との関係づくり・制度について、今後見直しを図っていく。</li> <li>・ 農産物の販路開拓やPRを通じて都市圏との交流が生まれ、複数の県外スーパーとの販売取引がスタートした。これまでに関係を築いてきた事業者との連携を深めていくことで、販路先の開拓や町産農産物のPRに取組む。</li> </ul>							

施策2	世界で活躍できる人材の育成						達成度評価	担当係等
①	異文化に触れる学習機会を提供するなど、次世代を担う子どもたちの国際理解を深める教育の充実を図ります。						<b>D</b>	総務教育係
K P I	対応するKPIは住民評価指標のため、次期総合計画策定時に検証・評価							
主な実施事業	・ALT（外国語指導助手）の配置等による、グローバル化に対応した教育の推進。							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
<b>D</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際理解を深め世界的視野を育成できるような町独自のグローバル教育の在り方等について研究していく。</li> <li>・飯綱町スイス交流協議会を中心に、子どもたちがスイス文化に触れる機会を学校教育の学習題材等として提供できる取組などを検討していく。</li> </ul>							
施策3	国際交流の推進						達成度評価	担当係等
①	海外の都市との友好都市提携を検討するなど国際交流活動を推進します。						<b>B</b>	人口増推進室
②	国際交流事業を進める団体等を支援します。						<b>A</b>	人口増推進室
③	他市町村との連携により、海外との交流を進めます。						<b>D</b>	人口増推進室
④	ホームページや看板等において町の情報を様々な言語で表示するとともに、同時通訳機の導入など、多文化共生社会の実現を推進します。						<b>D</b>	人口増推進室
⑤	インバウンドを含め、地域経済の視点に立って国際交流を推進します。						<b>C</b>	人口増推進室
⑥	世界の人々との交流を深める機会を創出するなど、町民全体の国際理解の向上を図ります。						<b>C</b>	人口増推進室
K P I ①	町民団体が主催する国際交流推進事業数（事業）						人口増推進室	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	2	—	—	—	—	<b>3</b>	<b>67%</b>	
実績	2	2	2					
K P I ②	国際交流事業推進団体数						人口増推進室	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	1	—	—	—	—	<b>2</b>	<b>100%</b>	
実績	2	2	2					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飯綱町スイス交流協議会が国際交流協議会に改まり、スイスをはじめ国際交流プロジェクトを推進。</li> <li>・飯綱町日中友好協会の事務局として団体の活動等をサポート。飯綱町国際交流協議会への支援を実施。</li> <li>・多文化共生の取組として、長野地域連携中枢都市圏事業で日本語教室事業を実施。</li> <li>・将来的なインバウンドも視野に、国際交流活動の方向・意義・進め方等を検討。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
<b>C</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民の国際交流機運の状況を見極めながら、交流活動の具現化を図る。</li> <li>・飯綱町日中友好協会については、町が事務局を継続し活動を側面支援していく。また、飯綱町国際交流協議会については、町が協議会のオブザーバーとなり、交流活動の発展支援を図る。</li> <li>・多文化共生社会を見据える中で、国際的主要言語に対応した環境整備・対応等について、有効性・周囲の動向など総合的に勘案しながら検討する。</li> <li>・国際交流協議会の取組状況を踏まえながら、インバウンドや農産物・加工品等の輸出等も視野に入れた国際交流の進め方を検討・研究する。</li> <li>・国際交流協議会を一つの起点として、交流機会や理解向上の場づくりなどを、積極的に進めていく。</li> </ul>							

第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】

分野6	移住・交流			
基本方針	移住定住と多様な交流による地域活性化			
政策3	誰もがあらゆる分野でいきいきと活躍できる環境づくり			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	保健福祉課福祉係/企画課地域振興係・人口増推進室・企画係/教育委員会生涯学習係			
課題と方針	<p>地域内外の交流や世代間の交流を深め、みんなで地域の未来を語り合える機会を確保し、地域づくりの実践的な取組を推進します。</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町や地域の課題の認識・課題解決の取組強化</li> <li>・地域内外、世代を超えた交流機会の確保</li> <li>・地域の将来プランや取組への住民の主体的な参加促進</li> </ul>			
行動目標	地域の行事や集まりに積極的に参加しよう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	結婚相談所の利用による婚姻数（累計）<施策1>	3組	20組	
	（仮称）いいづな若者会議における提案事業実施数<施策1、2>	0件	2件	
	集落の将来プラン（将来の姿）を作成した集落数<施策2>	15集落	50集落	
	町民講座の開催数<施策2>	1回	2回	
	ボランティア活動登録者数<施策2>	150人	250人	
	一斉清掃への参加地区数・団体数<施策2>	50地区・0団体	50地区・25団体	
	審議会・委員会等への女性委員の登用率<施策3>	21.8%	30%以上	
	男女共同参画住民意識調査「男女平等となっている」の回答率<施策3>	42.1%	50.0%以上	
	住民 評価	共働によるまちづくりの推進満足度<施策2>	22.5%	↑
		誰もが尊重される環境づくり満足度<施策3>	22.4%	↑
男女が共にいきいきと暮らせる環境づくり満足度<施策3>		19.1%	↑	
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
<b>B</b>	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・結婚相談事業（登録者数：男性27名・女性：16名、相談者延人数365名）、マッチングアプリ（登録者数：13名）の活用、お見合い（15件、成婚者数1件）。</li> <li>・いいづな若者会議からの提案事業3事業を実施（前々年度提案1件含む）。</li> </ul>			

<p>A 順調 (目標以上に進捗)</p>	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティスペースZQの利活用方法。</li> <li>・集落や団体が主体的且つ効果的な取組を支援していくためのサポート体制の強化。</li> <li>・まちづくりの政策・方針決定の場への女性の参画の促進。</li> </ul>
<p>B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)</p> <p>C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)</p> <p>D 遅れている (目標の5割以下の進捗)</p>	<p>&lt;方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ZQについては、現在リユースや移住者交流の場等として活用し、一定の利用があるが、いづなコネクトやメーラプラザ等、町内には多くの交流拠点もあるため、今後の利活用のあり方等を改めて検討する。</li> <li>・まちづくり活動支援事業は、多様な団体により様々な活動が展開されているだけでなく、新たな取組を考えている団体等の相談窓口としての機能も有している。各団体が効果的にまちづくり活動を実践できるように、助言や相談に応じながら、町として継続的にサポートする。</li> <li>・女性自らが、あらゆる場に積極的に参加しやすい空気づくりを行政側から進めていくことで、意思決定等への女性参画と女性がより活躍できる環境づくりを推進する。</li> </ul>


施策1	多彩な交流の場の確保・創出						達成度評価	担当係等
①	多世代交流施設等の施設を活用し、多世代の交流や健康増進を促し、移住者同士や町民との交流を推進します。						<b>B</b>	地域振興係/人口増推進室
②	高齢期におけるフレイル予防やコミュニティづくりにつながる通いの場の創出支援を推進します。						<b>B</b>	介護支援係/包括支援センター
③	結婚に関する相談や結婚を望む独身男女の出会いの場の創出を支援します。						<b>B</b>	福祉係
K P I ①	結婚相談所の利用による婚姻数（累計）（組）						福祉係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	3	—	—	—	—	<b>20</b>	<b>40%</b>	
実績		2（総累計5）	4（総累計7）	1（総累計8）				
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多世代交流拠点「メーラプラザ」の運営（指定管理者：社会福祉協議会）による交流の場の創出。学用品リユース拠点・コミュニティスペースZQを活用し、移住者交流や様々な町民交流を促進。</li> <li>・いきいきサロン、オレンジカフェ、お元気くらぶ、すてきなおやじさんクラブ、フレイル予防講座等を実施し、高齢期のコミュニティづくりの支援・推進。</li> <li>・結婚相談事業、マッチングアプリの活用、お見合い等により、出会いの場の創出支援を実施。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メーラプラザの利用状況は高齢者等が中心となっている。若者から高齢者までの幅広い交流促進に向けて、新たな交流事業・交流の仕組みづくり等を積極的に進める。</li> <li>・高齢者等が「参加しやすい」、「参加したい」と感じる講座やメニューづくりなど、より多くの参加を得られるコミュニティの場や通いの場づくりを進める。</li> <li>・結婚支援について、相談者のニーズに合わせた多様な出会いの場づくりを行っていく必要がある。今後は「マッチングアプリ」の活用による婚活支援を推進・強化する。</li> </ul>							

施策2	共動によるまちづくりの推進						達成度評価	担当係等
①	地域集落の課題解決や活性化を図るため、集落の目指すべき姿の実現に向けた集落の自主的な取組を支援します。						A	地域振興係
②	まちづくりに関する講座（町民講座）を開催するなど、地域に貢献する活動に自主的に携わる人材の育成を図るとともに、そうした活動に取り組む団体や町民を						B	企画係
③	いいつな若者会議が立案した地域活性化につながるプロジェクトを支援します。						B	地域振興係
④	ボランティア活動を促進するため、いいつなポイントを付与するなど、共動によるまちづくりを進めます。						B	企画係/人口増進室
⑤	地方に興味を持つ都市部の企業や企業人が取り組むことのできる、地域課題の解決につながるようなプログラムを創出し、都市と地方の交流を推進します。						B	地域振興係/地域振興係
⑥	住民から町の取組に関する提案や意見を募集するなど、まちづくりに地域住民の意見を反映します。						C	企画係
K P I ①	いいつな若者会議における提案事業実施数（件）						地域振興係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	0	—	—	—	—	2	150%	
実績		3	3	3				
K P I ②	集落の将来プラン（将来の姿）を作成した集落数（集落）						地域振興係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	15	—	—	—	—	50	34%	
実績		16	17	17				
K P I ③	町民講座の開催数（回）						企画係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	1	—	—	—	—	2	50%	
実績		1	1	1				
K P I ④	ボランティア活動登録者数（人）						福祉係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	150	—	—	—	—	250	59%	
実績		155	235	148				
K P I ⑤	一斉清掃への参加地区数・団体数（地区・団体）						生活環境係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	地区：50 団体：0	—	—	—	—	地区：50 団体：25	地区：100% 団体：52%	
実績		地区：50 団体：13	地区：50 団体：13	地区：50 団体：13				
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落創生事業交付金により、集落の自主的な取組に対して支援を実施（集落創生計画策定地区21地区、集落創生事業事業実施：17地区）。</li> <li>・町民講座の開催、「食の匠」育成講座、食育推進体験講座、まちづくり活動支援事業等により、町づくり活動への支援と人材の育成を促進。</li> <li>・いいつな若者会議を設置し、若者等の事業提案等の仕組みを構築。</li> <li>・行政ポイント（町等が主催する事業への参加などに対してポイントを付与）の付与事業を飯綱カード協同組合と連携して実施。</li> <li>・アグリスポーツワーケーション実証実験の実施（3回、参加者合計35名）。</li> <li>・住民企画提案制度、町長のお出かけ懇談等の実施。</li> </ul>							

達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等
<p style="font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 0;">B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落創生事業は未実施の地区が約6割となっている。今後は複数の地区が連携した取組等も模索するとともに、地域おこし協力隊等による支援を強化しながら、事業推進を図る。</li> <li>・町民講座や食育事業については、行政、各種団体、地域、学校などが更に連携を強化して、新しいまちづくり事業につなげていく体制づくりを進める。</li> <li>・いづな若者会議から提案された事業について、継続的な取組として実施できる体制整備が必要。</li> <li>・いづなポイントについて、町と飯綱カード協同組合が連携を強化し、利用者・加盟店の増加を図る。また、カード利用とポイント付与等については、デジタル時代に対応した新たな活用方法やサービスの在り方を検討する。</li> <li>・ワーケーション（テレワーク、企業研修、休暇を含めた都市部企業の地方での働き方）を推進していくことで、都市部の企業や社員のニーズ（ウェルビーイング、ビジネスパフォーマンスの向上）と地域の課題（人手不足、荒廃地対策等）に対してお互いにメリットを享受できる継続的な仕組みを構築し、飯綱町の関係人口の拡大を図る。</li> <li>・住民企画提案制度による提案には、制度本来の意図・趣旨から外れる意見（単なる要望・苦情など）も多い。制度が効果的に機能するよう、制度内容等の改善を検討する。</li> </ul>

施策3	誰もが尊重される環境づくりの推進						達成度評価	担当係等
①	人権の尊重や男女共同参画社会の実現を推進するため、講演会、講座等の開催や広報等による啓発事業を行います。						<b>B</b>	生涯学習係
②	町の審議会・委員会等に女性委員を積極的に登用するなど、まちづくりの政策・方針決定の場への女性の参画を促進し、女性が住みたくなる町を目指します。						<b>B</b>	生涯学習係
K P I ①	審議会・委員会等への女性委員の登用率（％）						生涯学習係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	21.8	—	—	—	—	<b>30%以上</b>	<b>83%</b>	
実績		28.1	25.0	25.0				
K P I ②	男女共同参画住民意識調査「男女平等となっている」の回答率						生涯学習係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	42.1	—	—	—	—	<b>50%以上</b>	—	
実績		—	—	—			<b>(R7年度調査実施予定)</b>	
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報等を通じ、人権尊重と男女共同参画について定期的に啓発を実施。</li> <li>・ 行政関係組織だけでなく、地域の組織等についても、積極的に女性を登用するよう促すなど、様々な協議や意思決定等の場に女性登用比率を高めるよう、啓発及び要件として定めるなどの働きかけを実施。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人権・男女共同参画の推進について、若者や現役世代の参加を促す呼びかけを強化するとともに、新しい世代の考え方を日常生活や町の施策に積極的に取り入れていく機運の醸成と環境整備を進める。</li> <li>・ 様々な協議や意思決定等の場に、女性登用比率を高めるよう啓発を実施するとともに、女性の参画を制度・要件として定めていくなど、推進体制を一層強化していく。</li> </ul>							

第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】

分野6	移住・交流			
基本方針	移住定住と多様な交流による地域活性化			
政策4	町の魅力を広げる情報発信の推進			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	企画課企画係/産業観光課商工観光係・農政係			
課題と方針	<p>より多くの人々が飯綱町を知って、訪れ、将来的には住んでもらえるよう、町の魅力を地域内外に広く発信します。</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町の魅力発信による認知度の向上</li> <li>・広報における部署間の連携強化、多様な広報媒体の活用</li> <li>・効果的な情報発信コンテンツの作成、プロモーションの強化</li> </ul>			
行動目標	地域の行事や集まりに積極的に参加しよう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	町ホームページアクセス件数<施策1>	212,126件	250,000件	
	Facebookフォロワー数<施策1>	729件	1,500件	
	SNS等の広報媒体数<施策1>	3種類	5種類	
	プレスリリース情報発信件数<施策1>	50件	60件	
	住民評価	町の魅力や情報の積極的な発信満足度<施策1>	22.6%	↑
		戦略的なブランド発信満足度<施策2>	30.6%	↑
町の魅力（自然、特産品など）を積極的にPRしている		38.9%	↑	
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
B	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PRTIMESサービスを活用したプレスリリースは、全国の幅広いメディアと企業に情報を周知でき、メディアでの取扱機会の増加と町の認知度向上に寄与。</li> <li>・「りんご」に徹底的にこだわった情報発信により、「りんごの町」としての認知度が向上。</li> </ul>			
	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世代による情報取得媒体の多様化。</li> <li>・いづなまち花めぐりについて、近年の気候変動に伴い開花時期の予想が困難となり、開催期間の設定等が課題。</li> </ul>			
A 順調 (目標以上に進捗)	<p>&lt;方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者世代の情報取得はSNSが中心になっているため、町が活用するSNSについても、FacebookだけでなくInstagram等の活用も検討する。</li> <li>・花めぐりの情報は、鮮度が重要になるため、リアルタイムで情報を発信できるよう、SNS等による動画等の活用を増やしていく。</li> </ul>			
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)				
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)				
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)				

施策1	積極的な情報発信の推進						達成度評価	担当係等
①	町広報紙のほか、公式ホームページやSNS、デジタルサイネージなど多様な広報媒体を用いて、町の事業やイベントなどの情報を広く発信します。						<b>B</b>	企画係
②	町の情報をホームページ・広報紙等に掲載する際に写真・動画等を積極的に活用するとともに、SNS等を活用して町に興味を持った方との双方向のコミュニケーションに努めます。						<b>C</b>	企画係
③	地域のボランティア活動などまちづくりへの主体的な参加の機会となる情報はより積極的に発信します。						<b>C</b>	企画係
④	イベント情報は一元化するなど、誰もが見つけやすく、わかりやすい情報発信に努めます。						<b>B</b>	企画係
⑤	プレスリリースを積極的に行い、継続的な情報発信で町の認知度を全国各地に広めます。						<b>B</b>	企画係
K P I ①	町ホームページアクセス件数（件）							
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	212,126	—	—	—	—	<b>250,000</b>	<b>116%</b>	
実績		260,043	264,632	289,393				
K P I ②	Facebookフォロワー数（件）							
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	729	—	—	—	—	<b>1,500</b>	<b>53%</b>	
実績		774	789	794				
K P I ③	SNS等の広報媒体数（種類）							
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	3	—	—	—	—	<b>5</b>	<b>80%</b>	
実績		4	4	4				
K P I ④	プレスリリース情報発信件数（件）							
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	50	—	—	—	—	<b>60</b>	<b>82%</b>	
実績		49	43	49				
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>フェイスブック、デジタルサイネージ配信、PRTIMESを活用したプレスリリース配信、SBCラジオ「飯綱町りんごの里だより」、ウェブサイト「いいいいいづな」、「移住定住支援サイト」等により町の取組やイベント情報等を発信。ポータルアプリ「iなびいいづな」とホームページを連携することによるアクセシビリティの向上。</li> <li>まちづくり活動支援事業の紹介やまちづくり活動の話題を積極的に広報紙等で掲載。</li> <li>イベント情報は発信媒体においてカテゴリー別に分類。</li> <li>PRTIMESのサービスを活用したプレスリリースを実施し、メディアだけでなく同サービスに登録する全国の媒体（企業等）に町の取組を広く発信。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世代により情報を受け取る媒体は多様化していることから、訴求対象に応じた様々な情報発信媒体を活用していく。</li> <li>まちづくりに関する話題や情報については、単に情報を発信するだけでなく、参加したいと感じてもらうために、情報の質・見せ方等を改善する。</li> <li>ポータルアプリ「iなびいいづな」は利便性の高いアプリであることから、アプリのダウンロードを促進していく。また、発信情報については、利用者ニーズを定期的に把握し、常に見やすくわかりやすい環境づくりを進める。</li> <li>PRTIMESのサービスを活用したプレスリリースは、全国の様々なメディア・企業等に対し効果的に町の取組を発信することかでき、各メディアに町の話目を多く取り上げられることにつながっている。町の認知度を更に高めるためにプレスリリースを強化していく。</li> </ul>							

施策2	戦略的なブランド発信の推進	達成度評価	担当係等
①	アップルミュージアムの多様な施設機能を活かして、りんごを核にした町の魅力を積極的に発信します。	<b>B</b>	農政係/商工観光係/企画係
②	花や緑を活かしたイベント開催などを通じて、町の美しい景観や豊かな自然の魅力を積極的に発信します。	<b>B</b>	商工観光係/企画係
K P I	対応するKPIは住民評価指標のため、次期総合計画策定時に検証・評価		
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アップルミュージアムの機能を活用し、恒常的にりんごに関する様々な情報を発信。地域おこし協力隊によるSNSを活用した情報発信・PRを実施。</li> <li>・いづなまち花めぐりの開催により、町内外に町の自然の美しさ・豊かさを発信。</li> </ul>		
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等		
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域おこし協力隊等の活用によりアップルミュージアムの機能・活用を強化するとともに、運営協力員や町民による情報発信の仕掛け・仕組み等も検討し、より効果的な情報発信を図る。</li> <li>・花めぐりについては、広く認知されており、町の自然の魅力を効果的に発信する機会となっている。紹介している花の名所の更新やイベント内容を随時改善しながら、更に効果的に自然の魅力を発信していく。</li> </ul>		